

SHIZUOKA

J・O・U・R・N・A・L

Vol.23 No.1 2013 (通巻187号)

目 次

巻 頭 言	『個を高める』	副会長 山本 英雄	1
会 告	第34回 静岡ふれあい広場(9/8)		2
	第38回 MRI部会研修会(9/14)		3
	東部地区ふれあい広場(9/22)		4
	第22回 乳腺画像部会(東部ポジショニング講習会)(9/28)		5
	第59回 超音波部会研修会(10/5)		6
	静岡県放射線技師会創立65周年記念式典(10/12)		7
	第41回 アンギオ部会研修会(10/26)		8
	秋季公開講演(11/17)		9
	平成25年度原子力緊急時災害対策研修会(11/30)		10
	第43回 日本消化器がん検診学会・東海北陸地方会(11/30)		11
おめでとう	ございます 永年勤続表彰		12
報 告	平成24年度静岡県放射線技師研修会(3/10)		13
	肺がん従事者講習会(3/23)		15
	フレッシュャーズセミナー(5/19)		16
	第2回(公社)静岡県放射線技師会定時総会 第18回静岡県放射線技師学術大会(5/26)		17
	第73回(公社)日本診療放射線技師会総会(6/1)		19
	震災支援		21
学術論文	平成24年度静岡県放射線技師研修会(3/10)		22
メッセージボード			24
本会の歩み			27
会員動静			27
本会への寄贈図書			29
平成25年度 第1回理事会議事録(4/20)			30
第2回 静岡県放射線技師会定時総会 議事録(抄)			38
行事予定カレンダー			46



公 益
社団法人

静岡県放射線技師会

『個を高める』

公益社団法人静岡県放射線技師会

副会長 山本 英雄



サッカー日本代表がワールドカップ出場を決めた次の日の記者会見で本田圭佑選手が「日本のストロングポイントのチームワークは生まれ持っている能力である。どうやって自立した選手になって個を高められるかが重要」と言っていたのが心に響いた。

「個を高める」ライセンス職である我々診療放射線技師もプロフェッショナルであり、共感する部分もあるのではないのでしょうか？

この日同じニュースで「個を高めた」人が話題を二分していた。それは「渋谷交差点のおまわりさん」です。彼のマイクパフォーマンスが歓喜溢れるファンが暴徒化するのを防いだ立役者ではないのでしょうか？普通の交通整理の警察官とは違い、自らをおまわりさんと呼び、群衆と喜びを共感し、「12番目のサポーター」と心を揺さぶり語りかける口調は心地の良いものでした。おそらくこんな語り方は警察のマニュアルにもないでしょう。彼が日頃から意識し、試行錯誤しながら訓練している成果であり、このことがまさに「個を高める」に繋がっているのだと言えます。

一人ひとりが個を高めて強い人ができ、その人たちが集団となり、目標達成していくことで強い組織となり、その組織にいてことで個が高められ人として成長していけるのだろう。

今、チーム医療推進といわれ続けている中で、各職種が各々で個を高めようと活動しています。技師会も、業務拡大として「静脈注

射技針、注腸におけるカテーテル挿入、読影の補助」などに取り組んでいます。しかしながら真のチーム医療を目指すには、現行のさまざまな法律（医師法、診療放射線技師法、薬剤師法など）を改正することが必要になってきます。こんな大それた事は、一会員ではできません。大きな組織力、政治力が必要となり、且つ他の医療者と協同しながらやっていかなくてはなりません。

しかし、他人任せではなにも進展しません。一技師ができることをきっちりやっていくことが「個を高める」ことではないのでしょうか。

皆さんは、個を高めるとしたら何をしますか。学会・勉強会に参加・研究発表する、認定・専門資格取得、読影補助などですか？これらを実践するには技師会、学会加入が必要です。これも重要だと思います。

しかし、もっと身近に「個を高める」ものがあります。それは問題解決をしていくことです。問題とは「あるべき姿と実際の姿のズレ」です。あるべき姿とは自分のやりたいこと（夢）ではないですか。問題は見方をかえればやりたいこと（夢）なのです。「問題だらけの職場」は「夢を見させてくれる職場」です。今まで見逃していたり、見てみぬふりをしていた職場の問題を見つけ解決していくことが「個を高める」ことになり、自立した人へ成長させてくれるはずです。

会 告

『第34回 静岡ふれあい広場参加者募集』

（公社）静岡県放射線技師会は、平成9年より社団法人活動として「静岡ふれあい広場」に参加してまいりました。

当会の活動は大変好評でして、「静岡ふれあい広場」参加ごとに無料体験を受けていただいている方が増えています。

例年、超音波部会、管理士部会、乳腺画像部会、医療安全推進委員会、役員にて運営してまいりましたが、広く会員の皆様方にも参加していただいております。

本年も昨年同様多くの会員の皆様に参加、ご協力をお願いしたく、ご案内申し上げます。

記

- 【目 的】 ・ 公益社団法人として地域保健医療に関する活動の推進
・ 日本診療放射線技師会の定める「レントゲン週間」の行動の一環
・ 診療放射線に関する知識の普及啓発
- 【日 時】 平成25年9月8日（日） 9時より15時頃
- 【場 所】 静岡市青葉シンボルロード
- 【出展内容】 ・ 腹部超音波検査の無料体験
・ 骨密度測定の無料体験
・ 乳がん検診のすすめ
・ 身近にある放射線について
・ 医療被ばく相談
- 【参加資格】 会員
- 【募集人数】 若干名
- 【申込締め切り】 8月中旬
- 【申込方法】 下記まで氏名、所属施設、会員番号、「静岡ふれあい広場参加希望」とご記入の上ご連絡ください。

広報・福利厚生担当常任理事 鈴木 博寿

三島社会保険病院 放射線科 電話 055-975-5081（科直通）

FAX 055-975-2954（科直通）

*詳しい内容、打ち合わせの日時等は、決まり次第こちらからご連絡させていただきます。

会 告

『第38回 静岡県MRI部会研修会』

標記研修会を下記日程にて開催致します。

本研修会のテーマは、「関節領域」としました。まず、教育講演と致しまして、膝関節について静岡市立病院の米山先生より御講演を賜ります。主に、近年注目される読影補助に向けた基礎的な知識を身につけられるように正常例から代表的な症例についての所見や必要シーケンスについて、放射線科医の視点でお話して頂きます。

【日 時】 平成25年 9 月14日(土) 14:00 ～

【会 場】 静岡市立静岡病院 西館12階講堂

〒420-8630 静岡市葵区追手町10番93号 TEL:054-253-3125

公共交通機関を御利用下さい。また、車で御来院を予定されている方は、病院の一般駐車場（有料：300円/ 1 時間）を御利用下さい

【参加費】 1,000円

【内 容】

13:30 ～ 受付開始

14:00 ～ 14:50 教育講演

「膝関節のMRIについて」

静岡市立静岡病院 放射線科 米山 優美 先生

14:50 ～ 15:10 薬品メーカー情報提供

バイエル薬品株式会社

15:10 ～ 15:20 休憩

15:20 ～ 16:00 基礎講演（メーカー講演）

「SE系 3 Dシーケンスについて

～原理・アーチファクトから臨床応用まで～」

16:00 ～ 17:00 会員発表

テーマ：「骨軟部・関節疾患」

会

告

『東部地区ふれあい広場』

本年も、社会活動の公益事業として「東部地区ふれあい広場」を開催いたします。放射線の正しい知識と利用法を広めるとともに、安全性・危険性について理解を市民の方々に深めていただきたく、診療放射線技師によるイベント「富士市健康まつり」に参加し、開催いたします。

記

【開催日】：平成25年9月22日(日)

【会 場】：富士市フィランセ
住 所：富士市本市場432番地の1
電話番号：0545-64-9023
駐 車 場：乗用車189台

【内 容】：超音波検査体験
医療被ばく相談
放射線測定体験を予定

東部組織理事 玉田宏一
富士宮市立病院 電話 0544-27-3151
メールアドレス toubu@shizuhogi.jp

会 告

『第22回 乳腺画像部会(東部ポジショニング講習会)』

今回、県放射線技師会乳腺画像部会では、マンモグラフィ撮影のポジショニング講習会を企画いたしました。

県内の東部、中部、西部ごとで開催しており、今回は東部での開催を計画しましたので、ご案内させていただきます。

普段ポジショニングでお悩みの方など気軽に参加して頂きますようお願い致します。

当日、マンモグラフィに関してお悩みの方はフィルムをお持ち下さい。

ポジショニングの悩み、画質の悩みなどの相談も行う予定です。

日 時	平成25年 9月28日土曜日	14時00分から
場 所	静岡県立がんセンター 静岡県駿東郡長泉町下長窪1007 TEL 055-989-5222 (代)	

【内 容】 13:40 受付開始
14:00 ポジショニング実習
画像評価など(画質に関する相談など)

【参加費】 1,000円

今回は東部地区の放射線技師の方を対象に開催致します。

事前の申し込みなどの必要はありませんので、お気軽に御参加下さい。

会 告

『第59回 超音波部会研修会』

下記の通り、第59回超音波研修会を行います。多数の参加をお待ちしております。今回は症例発表会をメインとさせていただきます。日頃の業務で経験した貴重な体験をこの機会に報告していただければ幸いです。

【日 時】 平成25年10月5日(土) 15:00～

【場 所】 (公社)静岡県放射線技師会 事務所
静岡市葵区本通1丁目3番地5 フェリス本通り202号 TEL 054-251-5954

【参加費】 1000円

【内 容】 14:30 受付開始
15:00～15:30 メーカー講演
最新超音波診断装置の動向
GEヘルスケア・ジャパン(株)
15:30～18:00 症例発表会

症例報告公募のお知らせ

今回は症例発表会と題して、広く会員の皆様に症例報告を公募いたします。
日頃の業務の中で得た、貴重な経験をこの場で報告して頂ければ幸いです。
応募については、メールによって受付します。

応募先 E-mail: shizuhogi_us@yahoo.co.jp

office word 形式により1ページ分の抄録を添付してお送りください。

内容は、主訴、既往歴、血液検査、生化学検査など 超音波画像診断像、他の画像診断、結果、考察等を記載してください。また、症例についての分野は問いません。

決して敷居は高くありませんので、若手のステップアップのためや自分自身の向上の為に是非応募してください。

応募締め切りは、9月20日まで。

会

告

公益社団法人 静岡県放射線技師会 創立65周年 記念式典 記念講演会 記念祝賀会の開催について

すでにご承知のとおり、本年度のメイン事業である65周年記念式典、記念講演会および記念祝賀会を10月12日（土）、ホテルアソシア静岡において開催致します。

65年という歴史の積み重ねを振り返り、また公益社団法人として新たなスタートを切る大きな節目を全会員でお祝いしましょう。

記

【日 時】 平成25年10月12日(土) 13:30～18:45

【会 場】 ホテルアソシア静岡

〒420-0851 静岡市黒金町56番地 TEL (054)254-4141(代)

【プログラム】

13:30～ 受付開始

14:00～14:45 公開講演会

15:00～16:00 記念式典 〈式次第〉 開 会

式 辞

来賓祝辞

祝電披露

表 彰

静岡県知事表彰

感謝状授与

16:10～17:00 記念講演会 記念講演

公益社団法人 日本診療放射線技師会 中澤 靖夫 会長

17:15～18:45 記念祝賀会 〈次 第〉 会 場

開会の辞

会長挨拶

来賓祝辞

乾 杯

ご 歓 談

閉 会

【会 費】 正 会 員 5000円

賛助会員 5000円

会

告

『第41回 静岡県放射線技師会 アンギオ部会研修会』

第41回研修会は「心臓」に関する研修会を企画いたしました。

心臓CTに関する講演を磐田市立総合病院の吉原先生をお願いいたしました。

また、冠動脈造影に関する情報提供として、IVUS、OCT、FFRに関するメーカー講演を企画しております。

多くの皆さまにご参加頂きますようお願いいたします。

- 【日 時】 平成25年10月26日(土) 14:00 ～ 17:00
【会 場】 静岡市商工会議所
【共 催】 バイエル薬品株式会社
【会場整理費】 1,000円

【プログラム】

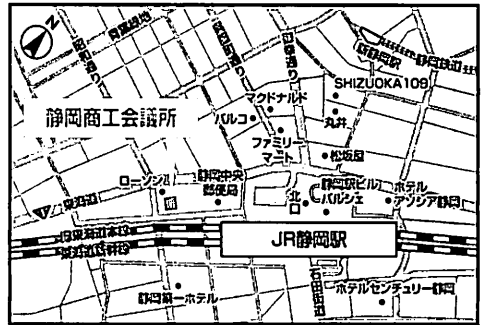
- 1) メーカー講演 (14:00 ～ 15:20)
 - ・ 共催メーカー講演 (バイエル薬品株式会社)
 - ・ IVUS (テルモ株式会社)
 - ・ OCT (セント・ジュード・メディカル株式会社)
 - ・ FFR (ボルケーノ・ジャパン株式会社)

- 2) 症例報告 (15:20 ～ 15:50)

- 3) 特別講演 (16:00 ～ 17:00)

「心臓CTに関する内容」(予定)

磐田市立総合病院 放射線診断科 科長 吉原 修 先生



※内容の詳細は、静岡県放射線技師会ホームページでお知らせいたします。

当研修会は日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構の認定講習会として認定をいただいております。

また、技師会が行う研修会は日本救急撮影認定機構の認定講習会として認定されています。

公益社団法人 静岡県放射線技師会 アンギオ部会

会

告

市民公開講座

『秋期公開講演会-肺がん検診受診率向上を目指して-』参加のお願い

（公社）静岡県放射線技師会は公益事業としてがん撲滅、そしてがん検診受診率向上を目指し、県民の皆様が安心して健康で過ごせますように健康増進を推進するため、また、放射線技師の資質向上を目的とした講演会の企画をしています。

昨年は大腸がんに関する講演を行いました、今年は肺がんをテーマとし、『秋期公開講演会-肺がん検診受診率向上を目指して-』と題して、講演会を企画しています。

詳細等はまだ決まっていますが、多くの方々に興味を持ってもらえる、参加したくなるような内容を企画できればと思っています。

つきましては、ご家族やご近所様、職場の方など皆様お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

以上

記

【日 時】 平成25年11月24日(日) 14:00 ～ 16:15 (予定)

【会 場】 静岡県男女共同参画センター あざれあ 5階 501会議室
〒420-0851 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1
Tel 054-255-8440

【内 容】 未定（決まり次第ホームページ、会誌等でお知らせいたします。）

*技師会IDカードをお持ちください

会 告

『平成25年度 原子力災害時緊急対策研修会』

静岡県放射線技師会は、静岡県地域防災計画（原子力対策編）の協力団体に指定されております。研修内容は原子力編では、GM管取扱いと緊急被ばく汚染スクリーナー養成を目指した実習。地震については、今年度より公益事業としての取り組みで専門の講師による公開講演を予定しております。貴重な実技講習の機会です。県民の安心・安全を守る為、また生涯教育もかねてご参加ください

記

【日 時】 平成25年11月30日(土) 14:00～17:00

【場 所】 静岡県立総合病院 つつじホール(6階)

静岡市葵区北安東4-27-1 TEL 054-247-6111

※外来駐車場が利用可能ですが、乗り合わせにてお願いいたします。

【主 催】 (公社)静岡県放射線技師会：災害対策委員会・企画調査委員会
・管理士部会(放射線技師のためのセミナー)

【後 援】 静岡県健康福祉部、(公社)静岡県放射線技師会

【内 容】 ==プログラム==

13:30～ 受付

公開講演

14:00～15:10 【国の原子力災害対策指針に対する県の知り組み】(課題)
(10分休憩)

15:20～15:50 【GMサーベイメーターの原理と取扱い】日立アロカ株式会社

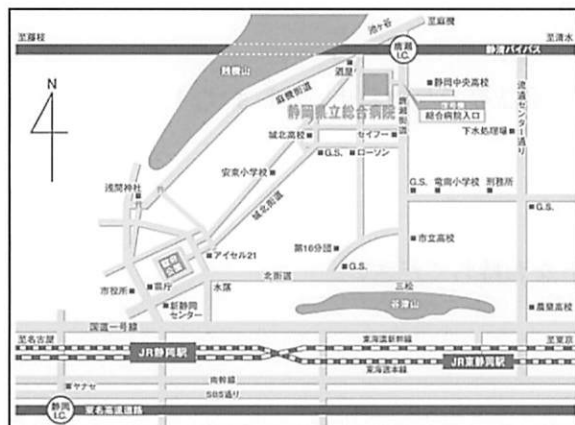
15:50～17:00 【原子力災害におけるスクリーニング実習】

<協力> 中部電力 浜岡原子力発電所 放射線安全課、(公社)静岡県放射線技師会

17:00 閉会挨拶

※技師会員はIDカードをご持参ください。

※研修会終了後に原子力災害時緊急対策研修会受講票を渡します。



JR静岡駅(北口)前

：20番乗り場：唐瀬線（三松経由唐瀬営業所行）→「県立総合病院入口」下車（徒歩3分）

：20番乗り場：上足洗線（上足洗経由唐瀬営業所行）→「県立総合病院」下車

：10番乗り場：県立病院高松線（県立総合病院行・唐瀬営業所行）→「県立総合病院」・「県立総合病院入口」下車

タクシーをご利用の場合：

JR静岡駅前より15分

会

告

『第43回 日本消化器がん検診学会・東海北陸地方会』のお知らせ

第43回日本消化器がん検診学会東海北陸地方会・東海北陸消化器がん検診の会総会を以下のように開催します。

【開催日時】 平成25年11月30日(土) 9:10～16:00

【会 場】 アクトシティ浜松 コンgressセンター(静岡県浜松市中区板屋町111-1)

【大会長】 聖隷福祉事業団 聖隷健康診断センター 所長 武藤 繁貴

【参加費】 会員・非会員とも無料

【認定単位】 日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師認定制度更新の5単位

◇◆◆◆◆◆ プログラム ◇◆◆◆◆◆

	第43回東海北陸地方会 第22回東海北陸支部放射線研修委員会	東海北陸支部超音波研修委員会
9:20～ 11:30	一般演題(口述・演題公募) ・消化器がん検診に関する演題 ・発表時間:7分以内 ・募集期間:平成25年9月6日(金)迄 ・抄録スタイル:A4縦1枚、文字:12pt、38字×30行、演題・所属・発表者・共同演者・本文の順 ・抄録送付先 メール:hiro_y@sis.seirei.or.jp まで 郵 送:下記事務局 宛	講演Ⅰ「脾疾患の超音波検査」(仮題) 藤田保健衛生大学 肝胆脾内科 准教授 橋本 千樹 先生 講演Ⅱ「脂肪性肝障害の診断」(仮題) 兵庫医科大学 超音波センター長 教授 飯島 尋子 先生
12:00～ 12:50	ランチョンセミナー 「大腸3D-CT検査のエビデンスと今後の展望」(仮題) 自治医科大学 放射線医学 木島 茂喜 先生	
13:20～ 14:20	特別講演 「H. pylori 除菌時代における対策型胃がん検診の役割」(仮題) 川崎医科大学 総合臨床医学講座 准教授 井上 和彦 先生	
14:30～ 16:00	シンポジウム テーマ「より適正な消化器がん検診の実現に向けた取り組みとその課題」	

【お問合せ先】 聖隷福祉事業団 聖隷健康診断センター 事務局 担当:若野、湯山
〒430-0906 浜松市中区住吉2丁目35-8 TEL 053-473-1632(直通) FAX 053-474-2505

おめでとうござります

公益社団法人 静岡県放射線技師会 永年勤続表彰

《永年勤続35年表彰》

船坂 廣治 渡辺整形外科医院
松島 俊光 静岡赤十字病院
石川 善久 自宅
稲垣 達雄 菊川市立総合病院

塩田 昭吉 NTT東日本伊豆病院
藤川 眞己 みのる整形外科
阿部 八郎 自宅
高木 東 浜松労災病院

《永年勤続20年表彰》

水間 健二 袋井市立袋井市民病院
大石 哲也 磐田市立総合病院
永島 暁人 静岡済生会総合病院
鈴木 千晶 総合病院聖隷三方原病院
山岡 真二 総合病院聖隷浜松病院
溝口 賢哉 藤枝市立総合病院
山内 邦明 浜松労災病院

伊藤 正己 豊橋医療センター
山田 浩之 藤枝市立総合病院
田爪 健二 順天堂静岡病院
中司 政章 池田病院
和田 幸司 NTT東日本伊豆病院
森下 元晴 滝ヶ原駐屯地

公益社団法人 日本診療放射線技師会永年勤続表彰者

《30年永年勤続表彰》

大木 義彦 藤枝市立総合病院
江口 幸民 浜松医療センター
田川 均 静岡赤十字病院
森 佳久 島田市立島田市民病院
片山 善博 聖隷健康診断センター
竹内 智 聖隷予防検診センター
澤井 俊雄 磐田市立総合病院

白澤 梅男 浜松医療センター
藤池 悟 聖隷沼津病院
村田 憲昭 社会保険桜ヶ丘総合病院
児玉 吉彦 JA静岡厚生連静岡厚生病院
新木 達哉 菊川市立総合病院
福島 知之 島田市立島田市民病院

(敬称略)

平成24年度 静岡県放射線技師研修会 報告

平成25年3月10日(日)
もくせい会館 第1会議室

平成24年度静岡県放射線技師研修会を、平成25年3月10日(日)に静岡県職員会館(もくせい会館)第1会議室において、メンタルヘルスをテーマに、医療関係者を対象とした「うつ病の現状と治療薬」と、一般公開講演「職場のメンタルヘルスと管理監督者」の二部構成で開催しました。

＊「うつ病の現状と治療薬」は学術原稿をご覧ください。



メンタル不調者は就労人口の約3%とも言われ、産業別では医療福祉分野で割合が高く、個人の健康管理はもとより、上司や同僚による組織的な取り組みが必要であると言われています。そこで、常葉学園大学教育学部心理教育学科教授の西尾明先生に講演をしていただきましたので、内容を紹介させていただきます。

《職場のメンタルヘルスと管理監督者》

I. 職場におけるメンタルヘルスの現状

近年は「心の時代」と言われており、今年で61回目となる労働衛生週間のスローガンも、以前はもっぱら身体の健康や環境のことばかりであったが、1985年に“工夫と努力で環境改善 心とからだの健康増進”が採用されてからは心の健康に変わってきており、2012年は“心とからだの健康チェック みんなで進める健康管理”が採用

されている。

メンタルヘルスに関するキーワードはいくつかありますが、次にあげる①～⑩が近年の傾向です。

「半健康層」の増大：健康な人は15～20%、病気の人でも15～20%、残りの60～70%が半健康層「心の病」の増加：6割がかなり強い不安やストレスを感じている。

①「長時間労働」：

日本の残業時間は世界でトップ、これが突然死や過労死の要因

②「自殺者」：14

年連続3万人超、以前は20代と高齢者の自殺

が目立ったが、30～40代が増加。90人/日の自殺者があり、交通事故死の5～6倍

③「早期離職者問題」：753現象(入社3年までに、中卒の7割、高卒の5割、大卒の3割が離職)

④「非正規社員」の増加：働く人の1/3、女性 は過半数が非正規社員

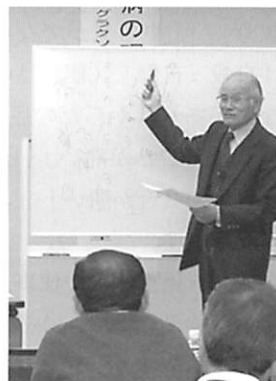
⑤「パワーハラスメント」：悩みのトップは上司 との関係

⑥「働き過ぎ」と「うつ病」の増加：富士市をモデル地区としたキャンペーン「パパ眠れてる？」

⑦「人間関係」の希薄化：コミュニケーションのない、殺伐とした職場

⑧「五大疾病」のひとつに：がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、そして精神疾患

これらの背景にあるのは、「成果主義」「能力主義」「裁量労働制」の破綻が考えられ、社会の変



化がもたらしたものだと言えます。

Ⅱ. ストレス社会が生む、いま職場で増えている心の病

ストレスを考えるうえで重要なことは、周りの者（上司・同僚・部下）が「ストレスに気づく」こと、そのストレスを人生のスパイスと考えて上手に付き合っていくことです。

ストレスからくる疾病の主なもの、神経症と心身症があり、心と身体のバランスや性格との関係が要因となっており、人間関係で軽減することができます。上司は『傾聴する』というスタンスで、部下と接することが大切です。

代表的な疾病として「うつ病」があります。精神的な症状は、「マイナスな感情（不安、悲しみ、焦り）」・「やる気がでない」・「頭が回らない」・「自殺・自傷」・「症状は朝悪く、夕方楽になる」などがあり、からだの症状としては、「眠りが悪い」・「どこかが痛い」・「食欲が増える・減る」・「胃腸の具合が悪い」・「耳や目が悪くなる」などがあります。

過労（過重労働や仕事人間）が原因の一つで、何らかの変化（きっかけ）が見られたら、「専門医を受診」・「カウンセリングを受ける」などが必要ことがあります。治療は『薬』・『休養』と『心理療法』が効果的です。また、症状がまったく違う、新型（現代型）うつ病もあります。

Ⅲ. 心の健康のために、ストレスへの対応

ストレスへの対応には次のようなものがあります。

- ①ためない、気分転換を早くストレス解消法を多く持つ（飲む、寝る、スポーツ、カラオケ、おしゃべり etc.）
- ②趣味（第三の空間）を持つ：非（脱）日常性
 - ・ 仕事以外に打ち込めるものを
 - ・ 仕事、運動、休息、趣味のバランス
- ③相談相手がいるか：人間関係がキーワード

Ⅳ. メンタルヘルスと管理監督者（キーパーソン）

①ストレスと管理監督者

管理監督者の病気はストレスが原因であること

が多く、病気の王者と言えます。また、管理監督者がストレス因子となっていることも見逃せなく、キーパーソンと言えます。

②これからの、理想の上司像

- ・ 3H「Head（知識）・Hand（技術）・Heart（態度）」のバランス→人格を求められている
- ・ ワークライフバランス
- ・ 「仕事」の評価より、「管理（育成）」の評価
- ・ 「ストレス因子（パワハラ）」から「相談相手（リスナー）」に“サラリーマンの最大の幸せは、いい上司に仕える幸せ”部下を持つ管理監督者のみなさん、あなたのメンター度（mentor：優れた指導者、助言者、信頼のおける相談相手）をチェックしてはいかがですか。

《あなたのメンター度チェック》

以下の1)～10)について、点数を付けてください。

- かなりそう思う ……（3点）
- まあそう思う ……（2点）
- そうでもない ……（1点）

- 1) 人の成長を見るのは嬉しい
- 2) 人が成長するためには、周囲のサポートが大切だと思う
- 3) 現在の会社に誇りを持っている
- 4) 様々な年齢の人と働くのは面白い
- 5) 挫折経験がある（進学、就職、社会人になってからなど）
- 6) 人からの相談には、親身に乗り方だ
- 7) 最近の若い人の考え方は理解できる
- 8) 自分の仕事に直接関係のないビジネス書も、良く読む方だ
- 9) 私は上司運が良いと思う
- 10) 私は好奇心が旺盛だ

合計点が30点（師範）、22～29点（上級）、17～21（中級）、16点以下（見習）によってメンター度を評価

（企画調査理事：秋山洋）

肺がん検診従事者講習会

平成25年3月23日(土)
静岡県総合研修所もくせい会2階 第1会議室

平成25年3月23日(土)、静岡県総合研修所もくせい会館に於いて平成24年度の「肺がん検診従事者講習会」(静岡県対がん協会と本会主催、(社)静岡県医師会後援)が開催された。



参加者は医師22名、放射線技師16名、合計38名でした。

はじめに、当会の森副会長による挨拶の後、静岡県立がんセンター画像診断科部長の遠藤 正浩先生に「肺疾患の画像診

断」と題して講演して頂きました。



遠藤先生の講演は、肺疾患を大きく3つに分け、

- ①孤立性病変
- ②びまん性病変
- ③血管性病変

について肺がん検診をするにあたって、鑑別になるような画像症例を中心に分かり易く、講演していただきました。

肺疾患の診断の基本は、高分解能のCTを主に使用して詳細な情報を得て診断していくことが大切で、画像処理も重要な役割であるとのことでした。また、PETの併用も現在は行われているそうです。

会場からの質問で、肺がん検診でのCT線量について質問がありました。遠藤先生は、線量の低下は縦隔の診断には不適ではないかとの見解でした。

来年の開催には、会員の皆様のより一層の参加をお願いしたいと思います。

最後に、遠藤先生には、実践に即した講演をして頂き感謝いたします。



(常任理事 三浦 孝夫)

第3回 フレッシュャーズセミナー 報告

生涯教育委員長 天野 守計

平成25年5月19日（日）に静岡県放射線技師会事務所にて、第3回フレッシュャーズセミナーを開催しました。内容としては

- ①技師会入会の案内
- ②マナー・エチケット講座
- ③医療安全講座
- ④感染対策講座
- ⑤気管支解剖講座

を行いました。

今年度の参加者は計7名、新人は4名でその内1名が入会申請中でした。

今年度は国家試験の合格率が低いのと、各施設での新規採用が少ないせいか受講生も過去最低の1桁となってしまいました。また、講義内容も毎年同様であることと、各施設の採用時の研修にて上記ものは行われているため、本セミナーへの関心が薄いものと考えます。

内容もマンネリ化しているため、内容変更が必要かと思われます。

今回演題テーマにはありませんでしたが、診療報酬改定における今後の国の施策について話をさせて頂きました。7対1看護体制が通常化したことによる医療費の増加と看護師不足の助長があり、今後は看護必要度の基準値をあげるなど、急性期病院の位置づけを厳しくしていく方向にある。また、高齢者の増加が今後20年は続くが、団塊の世代が平均寿命に近づくまでは、就労年齢者の保険負担が増加する恐れがある。そして高齢者が増加することにより、認知症患者が多くなり救急などで診療拒否や不穏など適正な医療が提供できにくくなり、精神科医師の増員が望まれるなど、技師目線とは違う角度からの話をしました。

静岡県におけるフレッシュャーズセミナーの受講人数の減少が他都道府県でも同様に生じているのであれば、今後の運用についての協議が必要であると思い、若手技師の要望を知らなければならぬと感じました。

第2回（公社）静岡県放射線技師会総会 第18回 静岡県放射線技師学術大会 報告

平成25年5月26日（日）
アクトシティ浜松コンgresセンター41 会議室

平成25年5月26日（日）アクトシティ浜松コンgresセンター41会議室にて、第2回公益社団法人静岡県放射線技師会総会と第18回静岡県放射線技師学術大会が開催されました。大会のテーマは「県民医療の向上に向けた放射線技術の結集」で、参加人数は159名（正会員；143名、賛助会員；9名、学生；3名、一般；4名）でした。

天候にも恵まれ5月にしては暑い1日でしたが、活気に満ちた素晴らしい大会となりました。



第2回公益社団法人静岡県放射線技師会総会

総会挨拶において和田会長より、原発停止後のエネルギー問題、アベノミクスが目指すデフレ脱却、混合診療解禁を始めとするTPP（Trans Pacific Partnership）問題など、医療を取り巻く社会環境が厳しいものになっていく中で、放射線技師はチーム医療の一員として県民の医療の安全と高度な医療技術の提供に努め、県民の健康寿命の延伸に貢献しなければならないとお話しされました。また、9月20日（金）～22日（日）に島根県民会館で開催される第29回日本診療放射線技師学術大会、及び2月16日（日）に今回と同じアクト

シティ浜松コンgresセンターで開催される第55回東海四県放射線技師学術大会への参加と協力依頼がなされました。

表彰では、永年勤続表彰「35年；9名、20年；14名」が授与されました。

その後、議事に移り平成24年度事業報告、決算報告、監査報告が行われ、会場から「25年度の事業計画及び収支予算」について質問がありましたが、定款の43条に総会での承認は謳われていないとの説明があり、全ての議案は賛成多数で可決されました。

ランチョンセミナー

今回のランチョンセミナーでは、シーメンス社製CT装置の最先端技術について、ユーザーである2名の先生よりご紹介していただきました。



前半は、東海大学医学部付属病院の池田秀技師より、Dual Energy Imagingに関する原理と概要について、臨床画像を含めてご紹介していただきました。管電圧

の異なる2種類のデータを用いることで、SDとCNRのどちらを優先した画像にするか選択できることや、質量減弱係数を推定することで質的診断が可能となり、骨除去処理や腎結石の性状診断に活用できること、造影後の画像からIodine mapやVirtual non contrast画像が作成できるこ

となどが紹介されました。撮影や処理の自由度が高く、使用者がどう使うかが重要であり、東海大学医学部付属病院では、主に頭頸部血管描出や肺のPerfusion、腎結石の評価に利用しているとお話してました。



後半は、済生会川口総合病院の富田博信技師より「Right Doseを支えるNew technology～Stellar DetectorとSAFIRE～」とのタイトルでご講演していただきました。フォトダイ

オードとADコンバータを一体化することで、検出器内部で発生する電気ノイズを最小限にした検出器であるStellar Detectorについて、MTFやSD、NPS、低コントラスト分解能など詳細な評価結果をご紹介していただきました。また、raw dataを使用したモデルベース逐次近似画像再構成法であるSAFIREについて、初期検討の結果と、被ばく線量を低減して撮影された臨床画像などをご紹介していただきました。

公開講演



公開講演は、聖隷三方原病院脳卒中科部長の名倉博史先生に「脳卒中と画像診断」というテーマでお願いしました。脳卒中とは、脳血管の障害（狭窄、閉塞、

破綻）により脳組織が損傷され機能障害を来した状態（脳血管障害）で、最近では画像診断の進歩により無症候性脳卒中（かくれ脳卒中）も診断可能

となり、その分類は血管が詰まるタイプ（脳梗塞；ラクナ、アテローム、心原性）と破れるタイプ（脳出血、クモ膜下出血）に分かれるそうです。かくれ脳卒中が見つかった場合は、高血圧や糖尿病、脂質異常症、喫煙、過度の飲酒などの危険因子の有無を調べ、まずはそれを治療すると話されました。また、磁化した血液を用いて血流を調べるASLや、血管の内腔ではなく外観像を描出するBPASなど、最新の技術も紹介されました。

最後に①脳卒中治療では画像診断が治療の出発点、②画像所見＝神経症状ではない。そして③脳卒中診療は「Time is Brain」→「より速く、より美しい画像を」と、我々放射線技師への責務と期待をもって講演を結ばれました。

研究発表

今回の演題数は18演題でした。X線撮影、情報管理・運営、RI（1）・RI（2）、CT、MRIの5つのセッションで座長のみならず会場からも質疑応答があり、参加人数が多かったこともあって熱気溢れる学術大会となりました。会場へ足を運んでいただいた会員の皆様に心より感謝致します。また、本大会を企画・運営していただいた役員の皆様、大会をサポートしていただいた西部地区会の皆様にも厚く御礼申し上げます。

次年度は中部地区での開催となります。公益社団法人として2年目を向かえたこの会が、これからも益々発展していくことを願っています。

（学術理事 聖隷健康診断センター 片山善博）

第73回 (公社)日本診療放射線技師会 定期総会 報告

平成25年6月1日(土)

日経ホール(東京都)

平成25年6月1日(土)13時～ 日経ホール(東京都)において第73回公益社団法人日本診療放射線技師会定期総会が開催されました。

当県からは、和田会長・田沢副会長・森副会長・片山常任理事・西谷常任理事・山本の6名が代議員として参加しました。

今回は、新しい試みとして11時から特別講演として国立がん研究センター中央病院 荒井保明院長による「がん医療の推進と診療放射線技師に望むこと」の講演がありました。



昼食後13時～から総会がはじまり、冒頭の中澤会長の挨拶では、国会運営が遅れているため「造影剤注入時の抜針、注腸撮影時のネラトンカテーター挿入など」法改正に関する案件も遅れているが引き続き講習会は継続していくこと、読影の補助については日当直時の撮影から積極的に参加する、被ばく相談については新しく発刊した「解らないことだらけの放射線被ばく」を活用して国民に啓蒙していく、検診車への医師不在問題に関しては全国から協力いただいたアンケートを基に、厚生労働省への摂政および政治の力の両面から法

改正を目指していくと述べられていました。

引き続き、平成24年度物故者33名への黙祷が行われました。

表彰委員会より功労賞(2名)、地域功労賞(4名)、永年勤続50年(32名)、永年勤続30年(384名)の報告と功労賞受賞者2名に表彰状授与並びに第28回日本診療放射線技師学術大会開催県愛知県放射線技師会に感謝状が授与されました。

総会運営委員会より総会の成立(181名)が確認され、議長に河本勲則氏(京都)、永峰正幸氏(岩手)が選出され議事が進行しました。



第1号議案：平成24年度事業報告

(反対0、保留0、賛成181)

東日本大震災に対する継続した取り組み、第6回JART・JSRT公開合同セミナーの開催、第28回日本診療放射線技師学術大会の開催、公益法人への移行、本会の名称を「日本診療放射線技師会」と変更した、診療補助の拡大について全国的な統一講習会を実施することなど報告がされた。

代議員からは、60歳以上の退会者が増えている、

定款に則った総会の運営、会費未納者に対する対応、資料の作成方法、レントゲン検査という表現などの意見がでました。

第2号議案：平成24年度決算報告

(反対0、保留0、賛成181)

当期増減額決算は、4,846万7,049円の減となっている。受取会費においては会員の退会者が入会者を上回り対前年度比2,220万5,500円の減収となっている。また、費用に関しては、研修会、印刷費、損害賠償保険料、会員システム費など増額となっている。

監査報告がなされ、適正に処理されているという報告でした。

第3号議案：平成25年度事業計画

(反対0、保留0、賛成181)

- ・東日本大震災に伴う被災地への復興と被災者に対する支援活動の継続
- ・読影補助の拡大内容の周知と全国統一の臨床研修の実施
- ・診療放射線技師法の第一次改正に向けた事業の展開
- ・診療報酬改訂に向けた事業の展開
- ・医療法第6条に基づいた広告のできる認定・専門技師制度構築事業の展開
- ・検査・治療依頼に対する疑義照会業務について周知を図る事業の展開
- ・管理者・ミドルマネジャー・フレッシューズセミナーおよび女性サミットの開催
- ・第29回日本診療放射線技師学術大会の実施が提案された。

第4号議案：平成25年度予算案

(反対0、保留0、賛成181)

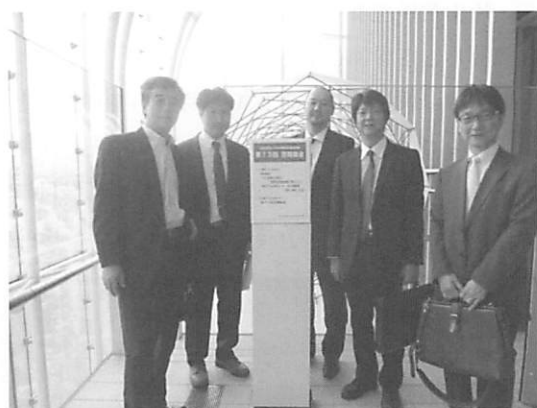
収入6億7,704万9,357円（流動資産繰越2億147万9,357円含む）、支出4億7,557円とした。新

情報システム構築予算1,800万円を固定資産取得支出として計上した。

平成25年度 テーマ

「国民・医療者と協働し、質の高い医療を提供しよう」

すべての議案が可決されました。全国的に見ると会員数微増（182名）であり、会費未納者が増加しているのが気になりました。静岡県も傾向は同じで特に会費納入について強く会員に要請していく必要があると感じました。



(副会長 山本 英雄)

震災支援報告

あの震災から2年を迎え、復興庁連携プロジェクトのある団体が、「東日本大震災後の助けあい実態調査」を実施しました。それによると震災から2年を経ても、支援したい気持ちは少なくなっていないようです。「強く持っている」気持ちはさすがに下がりましたが、8割近い方が、支援したい気持ちを持ち続けているとのこと。年齢的には若年層がやや低く、居住地ではむしろ被災地から遠い地域の方々に支援の気持ちが広がっているようです。

私どもの富士宮市は、震災翌週 3 月 15 日に震度 6 強の地震に見舞われ、私自身も被害は大きくはありませんが罹災証明を発行してもらい保険を使う一人となりました。その後は計画停電に追われ、我々が行った震災支援と言えるのは、福島に派遣された富士宮市消防本部職員の帰還後のスクリーニングくらいでした。静岡県放射線技師会としての健康電話相談や福島県警依頼遺体検案サーベイに協力できなかったことを心の隅に引っ掛りを持ち、上記の 8 割の方々同様、支援したい気持ちのみを持ち日々を過ごして参りました。

医療職として、診療放射線技師として、支援の気持ちは恐らく、皆が持っていると思いましたが、当科の玉田宏一主任が具体的な行動を申し出ました。超音波部会を通して、福島県の子供達の甲状腺検査を行うものでした。一日当たり130人～150人（新聞は5日と記載されていますが誤り）、対象者の約36万人を2年に1回生涯に渡り行うもので、とにかく検者が足りないとのことでした。既に、奥川超音波部会長は経験され、その意義と重要性を熱く彼に指導してくれたようです。私は、早速、診療技術部長を通して、富士宮市職員としての派遣をお願いし、今年1月7日から「福島県民健康管理調査に係る甲状腺検査への派遣」として5日間の甲状腺スクリーニング支援に派遣しました。

帰職後の彼は、福島の子供達やその両親の気持ち、検者として一緒に頑張った仲間の熱い気持ち、

長期に渡り継続する苦勞とその意義を語り、人として、医療人として一回り大きくなったように映りました。そんな彼の活躍を富士市立中央病院倉田技師長の計らいで、地元紙の富士ニュースが取材し、このほど掲載されました。

支援の方法は様々ですが、診療放射線技師として、自らの力を最も発揮できる形で協力できる事は、双方にとって有意義な支援となり、診療放射線技師の社会的貢献、そして社会的認知度を大きく上げる事に繋がっていくと思います。福島原発事故以来、放射線に対する国民的関心は急速に高まりました。様々な形で我々の社会参加が意義のあるものとなることを確信しております。そして、我々世代は、若い世代の志を育み、いい形で実現させてあげることも重要かと思っています。

(富士宮市立病院 深澤 英)

2013年(平成25年) 3月13日(水曜日)

富 二

富士宮市立病院
診療放射線技師

玉田 宏一きんいち

Vitality

超音波検査に協力

福島の子供たちに「安心」を

[illegible]

『うつ病の現状と治療薬』

グラクソ・スミスクライン 難波 祐介
平成25年3月10日

WHOの発表ではQOLを阻害する疾病としてうつ病が2008年時点で虚血性心疾患や脳血管疾患を抑えて1位であり、今後の推測でも2015年、2030年にもうつ病が1位となるとしている。国内の自殺者数は1998年から14年連続で3万人を突破して社会問題となっている。うつ病は自殺の原因・動機の20%以上を占めており、うつ病対策も重要である。

国内のうつ病の生涯有病率は6.16%、12ヶ月有病率は2.13%であり、女性のほうが高い傾向にあります。決して珍しい病気ではありません。

うつ病の症状としては身体症状と精神症状に分けることができ、身体症状としては睡眠障害、食欲減退、性欲減退、易疲労感などがあり、精神症状としては気分の抑うつ、思考の異常、意欲の低下などがある。うつ症状を呈する患者さんの初診診療科としては内科が65％近くで最も多く、専門の精神科や心療内科を受診するのは10％程度であるという統計もある。

うつ病を合併しやすい身体疾患として、内分泌疾患、代謝性疾患、神経疾患、心疾患などがあげられる。生活習慣病と抑うつとの関連性を調べた報告もあり、メタボリックシンドロームの因子の数が多いほど、抑うつの頻度が高いと示唆されている。うつ病・うつ状態は生活習慣病の予後を悪化させるという報告もあり、うつ病への適切な治療を行うことも重要である。うつ病の身体症状の頻度は多いものから睡眠障害、疲労、食欲不振、頭痛などがある。うつ病にみられる症状のうち、身体症状に比べて精神症状は患者さん自ら訴える頻度が低い。心理テストとしてSDSやSRQ-Dがあり、患者さんの状態を把握するために用いられて

いる。うつ病の診断基準として米国精神医学会の DSM - N の基準等があります。

うつ病とも関連が深い不安障害には、パニック障害、社交不安障害、強迫性障害、心的外傷後ストレス障害、全般性不安障害などがあります。パニック障害とは特別な理由もないのに襲ってくるパニック発作で発症し、発作は何度も繰り返されます。そのうち、パニック発作が起こるのではないかという強い不安（予期不安）に苦しめられるようになります。さらに発作を恐れて外出できなくなったりする広場恐怖という症状になります。

社交不安障害は人前での行動に極度の緊張や不安感や恐怖が強まり、人前での行為を避けるようになります。強迫性障害はばかばかしい考えやイメージが意思に反して繰り返し頭に浮かび、止めようと思っても自分の意志ではどうにもできずに苦しむ病気です。強迫観念と強迫行為の2つを特徴とします。心的外傷後ストレス障害は生命にかかわるような出来事を体験した後、その光景を何度も繰り返し思い出す、悪夢にうなされる、びくびくと不安・緊張の強い状態が続くなど様々な症状がみられる病気です。全般性不安障害は特殊な状況に限定されない、理由の定まらない不安が長期間続き、このような不安にこころやからだの症状が伴う病気です。稀な病気ではなく、1000人に64人くらいが経験するといわれています。

うつ病の治療方法は休養や十分な睡眠と適切な薬の服用がうつ病の基本的な治療であり、治療経過に応じて認知（行動）療法などの心理・精神療法を用いることで回復が可能となります。認知（行動）療法は物事に対する否定的・悲観的な考え方や受け止め方を改善し、気持ちを楽な方向へ

導き、偏った考えから起きる行動をコントロールします。

うつ病治療に使用される薬剤としては、基本的に1種類の抗うつ剤で治療することが前提ですが、症状に応じて抗不安薬、睡眠薬などの薬が併用されることもあります。抗うつ薬にはSSRI、SNRI、NaSSA、三環系抗うつ薬、四環系抗うつ薬などがあります。

うつ病の治療過程は急性期治療（6～12週）、持続療法（3～6ヶ月）、維持療法（1～2年）、投与中止（4週以上）に分けられます。急性期治療はよくなったり悪くなったりを繰り返しながら、徐々に症状がなくなっていくます。持続療法は改善しても、再び症状が現れやすい状態のため、長期にわたって治療を続けることが重要です。投与中止は抗うつ薬を急に中止すると不安な症状が現れるため、徐々に服用量を減らします。

抗うつ薬の効き始めのポイントは、患者さんにちょっとしたポジティブな反応が現れるので、最初の微妙な変化を見逃さないことが大切である。

患者さん本人はよくなったと言わないが、患者さんに薬の効果が出ていることをフィードバックする。まず、周辺症状（食欲不振・睡眠障害・不安焦燥）の改善からその後、精神症状（抑うつ気分・意欲の低下・快感の喪失）の改善していく。

薬剤による治療上の注意点は、患者さんに薬剤の効果の現れ方、副作用について説明する。効果発現まで1～2週間ほどかかることや副作用（SSRIでは消化器症状）について前もって伝え、自己判断で服薬をやめないように注意を促します。投与初期に薬剤の効果が現れないうちに副作用がでることがありますが、しばらく我慢して服用を継続すると自然に消失するケースがほとんどです。

抗うつ薬の服用は基本的に少量から始めて少しずつ増やしていきます。これは、それぞれの患者さんに必要な量を調整し、少量から始めることにより副作用を避けるためです。抗うつ薬の処方用

量設定が低くなりがちであるが、十分量を投与するようにします。（SSRIなどは比較的副作用が少なく、十分量投与しやすいと言われています）

2012年6月にグラクソ・スミスクラインより新発売しましたSSRI製剤のパキシルCR錠についてご紹介させていただきます。

パキシルCR錠はパキシル錠を徐放化した製剤であります。パキシル（パロキセチン）を徐放化（コントロールドリリース）する主な目的はゆるやかな血中薬物濃度上昇と、治療域内における血中薬物濃度の安定化です。それにより、血中薬物濃度の立ち上がり起因する副作用の軽減や、大きな日内変動に起因する副作用の軽減も期待できます。パキシルCR錠の治療継続率はパキシル普通錠と比べて優位に高い結果であり、患者さんに続けてもらいやすくなっております。

周囲の人にできる一番のサポートは、うつ病が単にこころの問題ではなく、治療が必要な病気であることを理解することです。

患者さんと接するうえでの心得は、「必ず治る病気であることを説明する」、「抗うつ薬は効果が出るまでには時間がかかり、その前に副作用が出る場合があるが服薬をやめないよう説明する」、「受け止めてあげ、支え、共感を表し、過度の激励は避ける」、「身体的な病気で怠け病、気の病ではないことを説明する」、「病気を治すことは医師に任せ、なるべく休養するように指導する」、「人生上、職業上の重大な決定を下すのは延期するように指導する」、「患者さんの訴える身体症状にも十分耳を傾け、適切な説明と対応を行う」、「治る過程は一直線ではなく一進一退を繰り返しながらよくなることを説明する」などがある。

以上

メッセージボード

平成25年6月現在



東部地区

◎経過報告

○H25/03/16(土)

第51回東部地区会通常総会

○H25/04/25(木)

第1回幹事会

「沼津市立病院」

出席者13名

①今年度幹事紹介

②第51回東部地区会通常総会反省

③静岡県放射線技師会報告事項

④平成25年度事業計画について

⑤第2回公益社団法人静岡県放射線技師会通常総会について

⑥第18回静岡県放射線技師会学術大会について

⑦第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会について

○H25/05/23(木)

第2回幹事会

「沼津市立病院」

出席者14名

①静岡県放射線技師会報告事項

②第2回公益社団法人静岡県放射線技師会通常総会について

③第18回静岡県放射線技師会学術大会について

④第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会について

⑤東部地区会レクリエーションについて

○H25/06/11(火)

第1号 地区会だよりの発行

◎行事予定

○H25/07/20(土)

東部地区会レクリエーション

(ボウリング大会)

○H25/09/12(木)

第3回幹事会

○H25/09/22(日)

東部地区会ふれあい広場

中部地区

◎経過報告

○H25/03/09(土)

第2回放射線セミナー

「人間尊重のコミュニケーション力向上」

講師：キャリア・コンサルタント&産業カウンセラー 田代保廣 先生



第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会
「読影ができるようになろう」

～模擬試験と解説～

講師：医療法人社団綾和会 浜松南病院
放射線科 佐藤 慎祐 先生
〔もくせい会館〕36名参加



○H25/03/09(土)

平成24年度中部地区会通常総会

〔もくせい会館〕 参加21名 委任状192名

○H25/04/26(金)

第1回幹事会 〔静岡厚生病院〕 9名参加

①第1回放射線セミナー及び胃がん講習会について

②レクリエーションについて

③地区会newsの発行について

④第2回放射線セミナー及び胃がん講習会の会場について

⑤退会者承認について

⑥その他

○H25/05/31(金)

第2回幹事会〔インターネットメール会議〕

◎行事予定

○H25/08/24(土)

ボーリング大会

○H25/10/05(土)

第1回放射線セミナー

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

西部地区

◎経過報告

○H25/03/02(土)

平成24年度静岡県放射線西部地区会総会



第3回 西部地区勉強会

「原子力発電について」

中部電力株式会社 静岡支店

原子力グループ 課長 朝比奈 信夫 先生



第2回 放射線セミナー

「造影剤の副作用とリスク管理について」

第一三共株式会社 東海支店 造影剤担当

佐々木 達 先生

「急性腹症の診断におけるCTの位置付け」

大阪府立急性期・総合医療センター

救急診療科 副部長 中森 靖 先生

〔浜松商工会議所〕 参加者59名



◎行事予定

【勉強会】

○H25/06/22(土)

平成25年第1回静岡県放射線

西部地区会勉強会

〔浜松商工会議所〕

プログラム

第1回 西部地区勉強会

『転移性脳腫瘍の造影MRI』

エーザイ株式会社 中部・関西統括部

今西 良一 先生

第1回 放射線セミナー

『一般撮影 整形 下肢について』

北里大学東病院 放射線部

主任 中嶋 規容 先生

第2回 西部地区勉強会

『トモシンセシス搭載

AMULET Innovalityのご紹介』

富士フィルムメディカル株式会社

堀口 真太郎 先生

○H25/10/26(土)

平成25年度

第2回静岡県放射線西部地区会勉強会

[浜松商工会議所]

○H26/03/01(土)

平成25年度第3回静岡県放射線西部地区会勉強会

[浜松アクトタワーカンファレンスセンター]

【社会活動】

○H25/11/03(日)

浜松友愛広場 (健康広場参加)

【レクリエーション】

○H25/08/04(日)

鮎つかみ取り&バーベキュー大会

○H25/11/29(金)

ボーリング大会

【編集】

西部TIPS発行 年3回予定

【総会】

○H26/03/01(土)

平成25年度

静岡県放射線西部地区会通常総会

[浜松アクトタワーカンファレンスセンター]

本 会 の 歩 み

(平成25年2月1日～平成25年3月31日)

- 2 / 2 東部地区会
第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会
放射線セミナー
富士市交流センター 63名参加
- 2 / 8 第1回65年記念誌編集委員会
山本・田中・天野・望月・橋本・斉藤
島田
- 2 / 9 第40回アングリオ部会研修会
三島商工会議所 21名参加
- 2 / 14 第20回常任理事会
和田・田沢・森・山本・三浦・畑・片山
西谷・島田・佐々木
- 2 / 15 第3回学術委員会
片山(善)・平入・飯塚・高橋・大川
長屋・中村・有谷
- 2 / 15 平成24年度静岡県原子力防災訓練
(静岡県主催) 藤枝総合運動公園
田沢・榛葉・片岡
- 2 / 15 静岡県原子力防災情報伝達訓練実施
- 2 / 16 第20回乳腺画像部会研修会
西部地区マンモグラフィ・ポジショニング
講習会
聖隷予防検診センター 16名参加
- 2 / 23 第4回理事会 技師会事務所
和田・田沢・森・山本・三浦・畑・片山
西谷・島田・佐々木・玉田・児玉・寺田
片山(善)・秋山・倉田・近藤
- 2 / 26 第2回編集委員会(寄稿)
島田・片山・鈴木・三輪・大瀧・稲垣
- 2 / 28 第21回常任理事会(メール会議)
- 3 / 2 西部地区会
第2回放射線セミナー
第3回西部地区勉強会
平成24年度通常総会
浜松商工会議所 62名参加
- 3 / 5 第3回編集委員会(初校)

- 島田・片山・三輪・大瀧・稲垣
- 3 / 9 中部地区会
第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会
放射線セミナー
平成24年度通常総会
もくせい会館 35名参加
- 3 / 12 第4回編集委員会(2校)
島田・片山・鈴木・三輪・稲垣
- 3 / 10 平成24年度放射線技師研修会
もくせい会館 参加者22名
和田・秋山・江口・玉田・児玉・橋本
七尾・高山・田沢
- 3 / 14 第22回常任理事会
和田・田沢・森・山本・三浦・畑・片山
西谷・鈴木・佐々木
- 3 / 15 第3回災害対策委員会
企画調査委員会
管理士部会 3会合同会議
田沢・望月・児玉・杉山・高山・秋山
七尾・玉田・江口・橋本
- 3 / 16 東部地区会 平成24年度通常総会
富士市交流センター
- 3 / 23 肺がん検診従事者講習会
もくせい会館 38名参加
森・三浦・島田
- 3 / 28 しずおかジャーナル Vol.22 No.3 発送
三浦・西谷・島田・片山・三輪・大瀧
稲垣
- 3 / 28 第23回常任理事会(メール会議)

会 員 動 静

(敬称略)

(平成25年2月1日～平成25年3月31日)

- 【入 会】5名
東部：佐々木 臣 沼津中央病院
下山 拓郎 フジ虎ノ門整形外科病院
中部：石垣 敏光 静岡県産業労働福祉協会

西部：大井 健 はいなん吉田病院
古橋 彩那 医療法人豊岡会
浜松とよおか病院

【再入会】1名

西部：新村 秀俊 袋井市立袋井市民病院

【転入会】2名

西部：磯部 達也 社会福祉法人聖隷事業団
聖隷予防検診センター
← 千葉放射線技師会
鈴木 淳司 医療法人弘遠会
すずかけセントラル病院
← 北海道放射線技師会

【転出】3名

中部：縣 大治郎 医療法人沖縄徳洲会
榛原総合病院
→ 神奈川県放射線技師会へ
西部：小木曾弘康 社会福祉法人聖隷事業団
聖隷健康診断センター
→ 千葉県診療放射線技師会へ
原田 行雄 浜松労災病院
→ 千葉県診療放射線技師会へ

【退会】19名

東部：塩田 昭吉 NTT東日本伊豆病院
内村 進 東芝機械(株)沼津本社
中司 政章 池田病院
藤田 雄貴 三島共立病院
田所 孝雄 自宅
中部：鈴木 智雄 静岡済生会総合病院
深津 信央 榛原総合病院
山本 彰彦 静岡市立清水病院
曾根 良介 藤枝市立総合病院
藤原 信二 静岡市立清水病院
西部：加藤 力 自宅
鈴木 大輔 袋井市立聖隷袋井市民病院
矢野 理江 社会福祉法人聖隷事業団
聖隷健康診断センター
吉田 光晴 掛川市立総合病院

今井 厚夫 医療法人弘遠会
すずかけセントラル病院

村松 官司 自宅
横山 幸夫 自宅
野末 一司 浜松医療センター
曾我 真澄 自宅

【勤務移動】6名

中部：酒井 章雄 自宅
← 社会保険桜ヶ丘総合病院
岡根谷 侑 富士市立中央病院
← 社会保険桜ヶ丘総合病院
竹内 貴子 公益財団法人静岡県予防医学
協会藤枝健診センター
← 財団法人静岡県予防医学協会
西部：柴田 祥子 静岡県予防医学協会
西部検査所 ← 遠州病院
竹田 真典 袋井市立聖隷袋井市民病院
← 社会福祉法人聖隷事業団
総合病院聖隷三方原病院
中嶋 俊一 袋井市立聖隷袋井市民病院
← 社会福祉法人聖隷事業団
総合病院聖隷三方原病院

【氏名変更】2名

西部：池田 安奈 ← 彦坂 安奈
磐田市立総合病院
遠藤 美咲 ← 大形 美咲
社会福祉法人聖隷事業団
総合病院聖隷浜松病院

【電報】

東部：加藤 学 結婚祝電
西部：鴨川 真也 結婚祝電

会員総数	829名
東部	258名
中部	263名
西部	308名
(平成25年3月27日現在)	

本会への寄贈図書

(平成25年2月1日～平成25年3月31日)

- 2 / 4 東京放射線 2013年 2 月 Vol.60 No.703
2 / 4 神奈川放射線242
Vol.65 No. 5 Jan. 2013
2 / 4 平成24年度近畿地域放射線技師会
学術大会プログラム・抄録集
大阪府放射線技師会
2 / 4 会報MART 第79号 宮城県放射線技師会
2 / 7 放射野 2013. No112 2013年 新年号
長崎県放射線技師会
2 / 7 放射線やまぐち 2012 Vol.243 2012
Vol.244 山口県診療放射線技師会
2 / 12 会誌 No.32 2013.2 岡山県放射線技師会
2 / 14 三重県放射線技師会誌 268号 2013.2
Vol.63 No. 2
2 / 18 富山県放射線技師会報 Vol.73 2013
2 / 25 大分放射線 第90号 January 2013
3 / 4 東京放射線 2013年 3 月 Vol.60 No.704
3 / 7 岐阜県診療放射線技師会雑誌
第79巻 (通号115号)
3 / 8 兵庫県放射線技師会雑誌 2013.3. 1
Vol.72③
3 / 18 埼玉放射線 Vol.61 2013 No. 2
3 / 19 宮崎県放射線技師会誌 2013.3 Vol.93
3 / 19 愛媛放射線 No.79 2013
3 / 29 岩手放射線 2013 No.39

平成25年度 第1回理事会 議事録

1. 開催日時 平成25年 4月20日(土)
14時～16時30分
2. 場 所 静岡県放射線技師会事務所
静岡市葵区本通 1丁目 3番地 5
フェリス本通り202号
3. 理 事 17名 監事 2名
4. 出席者
和田健、田沢範康、森佳久、山本英雄、
三浦孝夫、畑利浩、片山昇、西谷収利、
島田洋一、佐々木幹晴、鈴木博寿、玉田宏一、
児玉吉彦、秋山洋、田中睦生 理事15名
近藤仁(監事) 監事 1名
欠席者：寺田理希、片山善博、
倉田富雄(監事)

(1) 会長あいさつ、議長・議事録作成人選出

平成25年度第1回理事会を開催いたします。早いもので昨年平成24年 4月 1日より公益法人に移行認定され 1年間、新しい役員と共に会務を遂行して参りました。平成25年度の一番大きな事業として静岡県放射線技師会設立65周年記念式典を10月に予定しております。また来年 2月には東海四県放射線技師学術大会が静岡県の当番で開催を予定しております。財務に関しましては、会員が減少傾向のため非常に厳しい財政事情であります。今年度事業におきましては皆様のご協力をいただき、かつ平成26年度に向け役員が替わっても会務に支障のないよう自分の役割をまとめていただきスムーズな技師会運営の移行が行えるようお願いしたいと思います。

本日は新年度第1回の理事会ということで重要な審議事項が多々ございますので皆様の建設的なご意見をいただきまして会務を遂行していきたいと思っております。

定款第34条第1項により、和田会長が議長に就

任いたしました。

定款第36条第4項により、議事録作成人 畑常任理事が指名されました。

(2) 報告事項

① 会長報告 和田会長

第73回日本診療放射線技師定期総会に関して

・平成25年 6月 1日 日経ホール(東京)にて開催 静岡県の代議員は 6名。

代議員は期限までに必要書類(出欠・旅費)を提出するようにお願いします。

日本診療放射線技師会より

・平成26年度診療報酬改定に関して

故障・事故事例調査を継続的に行う→各都道府県で協力施設を推薦。

事例対象：CT, MRI, RI, Angio, 心カテ, 造影剤自動注入器等。

主旨：医療機器の保守点検が医療法に規定され、日常点検・週末点検・月末点検・保守点検が診療放射線技師の重要な診療業務の一部として認識されている。日本診療放射線技師会では医療安全の確保の視点から厚労省に医療機器に関する要望書を提出しており、その中で放射線関連医療機器の故障・不具合の実態保守点検の実施を報告することは次期の診療報酬改定に繋がる医療機器の安全管理のエビデンスとして極めて重要。

調査期間：平成25年 7月～平成27年 4月、3か月ごと報告(計 8回)。

・第29回日本診療放射線技師学術大会(島根県大会)について

小林実行委員長(島根県技師会会長)からの依頼
発表演題(口述・ポスター) 400題以上を目標
(現在募集中) 4/30 応募締切。

各地区会・施設で演題募集を広報していただきたい。事前参加登録 57名 情報交換会登録 7名(静岡県の割り当てとして依頼有り)。

登録方法：日放技ホームページ又は各都道府県放射線技師会を通じて登録。(4/20現在 静放

技からの登録数 0名) 7/31まで受け付け中。
静岡県からの多数の参加をお願いしたい。

② 副会長報告

東部：田沢副会長

・委員会から

情報管理委員会：イントラネット・ホームページ講習へのご協力ありがとうございました。

災害対策委員会：サーベイメータの校正を今年度も1台行いたい(昨年度も1台実施)。

中部：森副会長

中日本地域の基礎講習「CT」で講師をしていただけの方がCT研究会に多数参加されているため、ご挨拶に行かれており、その後こちらに向かわれるとのことですので後程報告していただきます。

西部：山本副会長

・部会から 特に報告なし。

・事務所関連(旧事務所(鷹匠マンション)の売却について)

鷹匠マンションの管理組合が正常に機能していないことが判明、管理費の未納者も多数おり修理しようにもお金がない状況。管理組合の再構築、修繕費の積立等管理機能が正常化してから修繕に取り掛かると思われるため修繕はかなり先になる。従って事務所売却時期は不透明となっている。

③ 常任理事報告

総務：三浦理事：

・定時総会進行表を作成し寺田実行委員長にも目を通していただいた。

・4/30会場下見(アクティシティ浜松コンgressセンター)。

・議長団進行表における文言の確認

決議に関しては「定款18条」で間違いないか？
→間違いない(和田会長)。

・監査報告は倉田監事をお願いする。

→進行表に不具合があるようであれば三浦理事に連絡を(和田会長)。

総務・庶務：畑理事：

・報告事項は特になし。

総会のはがきの提出に関して少なくとも理事・監事選出施設は全員投函していただくようご協力ください。

庶務一般：片山昇理事：

・会員動静について(平成24年1月1日～3月31日)

新入会5名：東部 下山 拓郎、小川 博史

中部 石垣 敏光

西部 古橋 彩那、高柳 有希

再入会1名 西部 新村 秀俊

転入会1名 西部 古村 隆士

新入会5名、再入会1名、転入会1名、について定款第3章第6条に基づき本理事会での採決をお願いいたします。

和田会長 採決は挙手にて行います。

反対0名、賛成12名、保留0名

(全会一致承認)

(注：森・秋山・田中理事所用により遅刻のため現時点では不在)

庶務会員管理：西谷理事：

・2012年度の会員数・会費納入状況。

総会員数 812名(東部：252名、中部：258名、西部302名)。

未納者数 117名。

(10名は2/28現在2年間会費未納)

・日放技から入金される業務委託料は9/30までに完済された人数に依存する。

(昨年度実績 595名×200円=119,000円 の委託料が3月に入金された)

9/30を過ぎた場合は納入実績に反映されないため収入にならない。委託料upの意味でも9/

30までの納入を是非お願いしたい。

和田会長：地区会長におかれましては地区総会等で業務委託料のことも含めて9/30までの会費納入を呼びかけていただきたい。

会計：佐々木理事：

- ・ 4/13 会計監査を実施。
- ・ 決算報告につきましては、協議事項で報告する。

編集：島田理事：

- ・ 3/29 ジャーナルVol.22 No. 3 を発送。
- ・ ジャーナルのページの割り振りに関して印刷会社側でミス、請求金額20%割引（50万→40万）で了承。
- ・ 議案集が4/30に発送となる。

広報：鈴木理事：

- ・ 学会大会のポスター作成及び報道機関への広報を行っていく。

④ 地区選出理事報告

東部：玉田理事：

- ・ 3/16 地区会総会開催。
- ・ 4/25 幹事会予定。

中部：児玉理事：

- ・ 3/9 中部地区総会・第2回放射線セミナー・第2回胃がん従事者講習会開催（もくせい会館）。
- ・ 4/26 幹事会開催予定（行事予定について協議）。

西部：寺田理事（欠席）代：山本副会長

- ・ 3/2 第3回西部地区勉強会・第2回放射線セミナー及び西部地区総会 参加者59名。
- ・ 西部TIPS Vol.66 発行 2月中旬。
- ・ ホームページ更新（随時）。
- ・ 行事予定
5/26 第18回静岡県放射線技師学会大会（ア

クトシティ浜松）。

6/22 第1回西部地区勉強会・第1回胃がん検診従事者講習会。

8/4 鮎のつかみ取りとバーベキュー。

→（秋山・田中理事 理事会到着）

⑤ 常設委員会理事報告

学術：片山善理事：

- ・ 病欠欠席のため報告事項なし。

企画調査：秋山理事：

- ・ 3/10 平成24年度静岡県放射線技師研修会開催。
参加者：会員20名、医療関係者2名、一般0名
- ・ 3/15 第4回企画調査委員会開催。

公益推進：田中理事：

- ・ 特にございません。

表彰審査委員会（和田会長）

4/13 委員会開催。

永年勤続表彰者候補 35年、9名。

（1万円相当の記念品授与予定）

永年勤続表彰者候補 20年、14名。

（5千円相当の記念品授与予定）

賞状・記念品については対象者の意向をはがきにて確認する。

松本賞 該当なし。

県知事表彰対象（65周年記念式典）について。

→（森副会長 理事会到着） 理事15名。

中部：森副会長：

- ・ 故障・事故事例調協力施設 全県で21施設。
ご協力ありがとうございます。
日放技から後日正式書類が発送される。
データの取り扱いについての文書も添付されることを確認。

⑥ 監事報告

近藤監事：

- ・ 4 / 13 平成24年度監査を実施。

監査報告書には事業比率が72.8%と記載されているが、正確には76.91%であった。

監査意見

- 1) 貸借対照表及び正味財産増減計算書は、定款に従い会の財務及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2) 事業については、厳しい財政での事業であり会員一人ひとりの一層の努力で実のある事業になることを望みます。
- 3) 役員の職務遂行に関する不正の行為または定款に違反する事実は認められません。
- 4) 会費納入については、事業を円滑に遂行するため年度当初の納入を切に望みます。また、遅くとも会費納入期限 9 月30日の完納を望みます。
- 5) 事業費用に占める公益事業比率は76.91%でした。今後も公益比率の維持を望みます。

石川事務員：報告事項なし。

(3) 協議事項

① 平成24年度（公社）静岡県放射線技師会 事業報告の件

和田会長：

総括：東日本大震災より2年が経過するが復旧・復興のスピードは遅く、福島第一原発周辺の放射線量は依然として高いままである。除染作業が進む中汚染土の保管場所に苦慮している現状である。

被ばく相談の一環として除染作業に従事する会社（静岡市内・民間会社）から社員の健康管理についての相談有り、社員の内部被ばく状況を把握したいがWBCは活用されるのか？手続きはどうすればよいか？といった内容。

→県立総合病院にはWBCが設置されているが、

福島原発関連の被ばく調査には使用されていない旨返答。

- ・ 福島第一原発事故に関する福島県県民健康管理調査に超音波検査士（体表臓器）の資格を有する会員を現地に派遣した。
- ・ 診療放射線技師の職業倫理の高揚、診療放射線技術の向上発展により県民の健康維持増進に寄与する目的として
 - 1) 放射線学及び診療放射線技術の向上発展に関する事業：セミナー・講演・学術大会・研修会等の開催・参加。
 - 2) 放射線検査に関する知識の普及啓発に関する事業：ふれあい広場・超音波無料体験・骨密度無料体験。
 - 3) 放射線の管理及び安全対策に関する事業：研修・訓練による放射線管理及び安全推進事業の開催。
 - 4) その他本会の目的達成に必要な事業：などを通して診療放射線技師の技術と資質の向上を図り県民の疾病予防の啓発に努めた。
- ・ 大腸がん検診事業の啓発活動を実施して受診率向上に努めた。
- ・ チーム医療の一員として「読影補助業務や各種検査に対する説明等」を実施し、不安解消や被ばく低減・良質な画像の提供に努めた。
- ・ 第5回中部放射線医療技術学術大会開催（開催県）中日本地域より多くの会員・非会員・学生・賛助会員・県民が参加し盛会に終えることができた。
- ・ 診療放射線技師はチーム医療の一員としての自覚と安心安全な医療の実践、新しい医療情報の提供、専門職としてのスキルアップを図り、県民の健康保持および増進に寄与することができた。

主な事業活動

公1 セミナー等による診療放射線技師の向上発展のための研修事業

- ・ 第17回静岡県放射線技師学術大会（平成24年5

月27日) 演題21題、参加者165名(会員140名、非会員12名、賛助10名、一般3名)。

- ・第28回日本診療放射線技師学術大会(平成24年9月28～30日 名古屋国際会議場)。
- ・第5回中部放射線医療技術学術大会(平成24年11月3～4日) 演題142題、参加者776名(会員640名、非会員20名、賛助31名、学生85名)。
- ・第54回東海四県放射線技師学術大会(平成25年2月3日 鈴鹿医療科学大学)。
- ・日本診療放射線技師会 基礎技術講習「乳房撮影」(平成24年6月17日) 参加者27名、非会員1名。
- ・第2回フレッシューズセミナー(新人教育セミナー)(平成24年7月1日) 参加者25名。
- ・第12回マンモグラフィ事前講習会(平成24年10月28日) 参加者30名。
- ・第12回マンモグラフィ撮影技術講習会(平成24年11月17～18日)。
- ・肺がん検診従事者研修会(平成25年3月23日) 参加者38名。
- ・平成24年度放射線技師研修会(平成25年3月10日) 参加者22名。

公2 体験活動、講演、相談等の事業による放射線検査に関する知識の普及啓発事業

- ・新春公開講演会(平成25年1月19日) 参加者73名(会員46名、賛助17名、一般10名)。
- ・第33回静岡ふれあい広場(平成24年9月30日) 超音波検査無料体験: 92名、骨密度検査無料体験: 95名、乳腺画像部会無料相談: 55名、医療被ばく相談: 1名。
- ・第2回東部地区ふれあい広場(平成24年10月20日) 骨密度検査無料体験: 70名、放射線測定体験: 60名、医療被ばく相談: 2名。
- ・第3回西部地区ふれあい広場(平成24年9月23日) 骨密度検査無料体験: 202名、乳がん検診受診啓発活動: 26名。
- ・秋期公開講演会 がん検診啓発事業(平成24年11月18日)。

- ・ホームページやFAXによる放射線に関する問い合わせ相談3件。

公3 研修、訓練等による放射線管理及び安全推進事業

- ・平成24年度原子力災害時緊急対策研修会(平成24年11月11日) 参加者60名、(会員34名、非会員6名、一般20名)。
- ・静岡県原子力防災情報伝達訓練(平成25年2月15日 10時開始)。
- ・第6回医療安全セミナー(平成24年12月8日) 参加者22名。
- ・静脈注射に関する講習会(平成24年12月9日) 参加者50名。

その他の事業

- ・(公社) 静岡県放射線技師会第1回総会(平成24年5月27日) 出席83名、表決状 472名。
- ・(公社) 日本診療放射線技師会第72回定期総会(平成24年6月2日) 会員に対する相互扶助事業。
- ・(公社) 静岡県放射線技師会第21回アール祭(平成25年1月19日) 参加者40名。

和田会長: 東部地区ふれあい広場の放射線測定体験とは?

玉田理事: 一般の方がサーベイメータを使用して測定体験していただきました。

和田会長: 平成24年度事業報告について意見・質問はございませんか? → 質問なし。

採決を行います。

反対0名、賛成15名、保留0名。

(全会一致承認)

② 平成24年度(公社) 静岡県放射線技師会 決算報告の件

佐々木理事:

- ・流動資産 412,934円、
- 固定資産 31,961,262円(特定資産6,787,496円、その他固定資産25,173,766円)
- 特定資産: 65周年事業準備預金+事務所営繕取

得準備金

その他固定資産：建物＋什器備品等

資産合計 32,374,196円

・事業活動収入 13,150,000(予算)

11,106,236(決算)

2,043,764(減収)

会費収入（正会員・賛助会員）が未納の影響と思われる。

・事業活動支出 11,526,000(予算)

11,200,364(決算)

325,636(支出削減)

・収支差額 94,128円のマイナス経常。

支出は削減されているが収入の大幅減によりマイナス経常となった。

・次年度繰越金 412,934円

・正味財産増減計算書内訳表により公益目的事業比率を算出76.91%（50%以上はクリア）。

和田会長：補足します。単年度では佐々木理事から説明がありましたように9万円程の赤字となっています。前年度と当年度を比較しますと前年度に比べ支出が64万円程抑えられているのもかわらず収入が130万円程落ち込んでおります。これは会費未納が大きく影響しております。税理士からはこのままでは破たん状態に陥るとの指摘もあります。会費納入は会員の義務であり、また「解散」という最悪の結末を回避する意味でも会費納入はできるだけ早い時期に完納するようお願いしたいと思います。支払い方法も施設毎で一括納入するなどの工夫を行い、未納者の減少に努めていたきたいと思います。

和田会長：何かご質問はございますか？

田中理事：賛助会員の会費収入の減少が目立ちますが何か理由があるのでしょうか？

和田会長：一部のメーカーが公取法の関係で未納の状態になっております。

問題が解決されれば賛助会費を納入していただけたと思います。

山本副会長：正会員の会費収入は2月末日までの分という解釈でよろしいでしょうか？

和田会長：そうです。日放技から各都道府県技師会へ会費が送金されるのは1か月遅れとなりますので、3月現在では2月末日までの納入分しか反映されません。

山本副会長：業務委託料はどの科目に入っているのでしょうか？

和田会長：負担金収入の中に入っております。

修繕費が決算額0円となっておりますが、サーベイメータの校正費用として予算計上した分が消耗品費に振り分けられたためです。

65周年事業準備預金に今年度140万円を積立し合計400万円にて記念事業を行います。また65周年事業準備預金および事務所営繕取得準備預金は別通帳で管理されております。

和田会長：その他何かご質問はございますか？

→ 質問なし。

採決を行います。

反対0名、賛成15名、保留0名。

（全会一致承認）

③ 賛助会員（団体）会費（別表2）について

和田会長

・賛助会費の扱いについての公正競争規約が公取法で定められている（メーカーから）

静放技の会費納入規程第2章第2条 別表2

（現）1口10,000円とし3口以上とする

（案）30,000円以上とする

というように改訂を行いたい。

常任理事会では全会一致で承認されている。

和田会長：会費納入規程の一部改訂案に意見・質問はございませんか？

→ 質問なし。

採決を行います。

反対0名、賛成15名、保留0名。

（全会一致承認）

和田会長：前回理事会で承認された会費納入規程第4条第2項の文言の追加と総会承認された後別表2の表記を改訂する（ホームページも更新する）。

書類はいつでも閲覧可能なように事務所に置

き、事業報告・決算報告は総会承認後速やかにホームページ上にアップするようお願いします。

今回は会員の会費に係る改訂ですので総会承認は正会員の3分の2以上の賛成が必要となります。それ以外の議案は過半数の承認が必要です。

④ 新webメール移行への提案について

田沢副会長

・情報管理委員会からの提案

（現）会務メールサーバーの使用容量が90%を超えた時点で30%程削除し60%程度とする。

常に一年分はメールを確保する。

任意に作成したフォルダーのメールについては削除しない。

（案）2年以上のメール保存が可能でかつアウトLOOKに近い感じで使用できるシステムへの移行を提案したい。移行費用は無料。移行作業は情報管理の方で行う（6月以降の予定）。

和田会長：何かご質問はございますか？

田中理事：新システムの容量はどのくらいなのでしょう？

田沢副会長：正確な数字は把握しておりませんが、2年分以上のメール保存が可能とのこと。

田中理事：デメリットはないのでしょうか？

田沢副会長：当初は移行作業を各個人で行っていただくということでしたが、情報管理の方で行うということですのでデメリットは思い当たりません。

児玉理事：メールアドレスの変更もありませんか？

田沢副会長：アドレスもそのままです。

和田会長：移行費用も無料、移行作業も情報管理でやっていただける、容量は増えるということであれば反対する理由がありませんがご意見等ありませんか？それでは採決を行います。

反対0名、賛成15名、保留0名。

（全会一致承認）

⑤ その他

和田会長

1)フレッシュャーズセミナーについて

・県単位で開催される事業 静岡県は平成25年5月19日。

内容：エチケット・マナー講座、医療安全講座、感染対策講座、気管支解剖、胸部単純撮影講座、技師会の事業活動等の紹介、新たに入職された診療放射線技師に、技師会について知っていただくためフレッシュャーズセミナーの広報をお願いしたい。

各施設におかれましても、新人診療放射線技師に参加を呼びかけていただきたい。

2) 65周年記念式典について

・各地区会を通して参加促進をお願いしたい。

・会場：ホテルアソシア静岡。

式典内容（案）：来賓祝辞、表彰関係（賛助会員感謝状、県知事表彰）、祝電、講演2題（1題は中澤日放技会長による基調講演）。

祝賀会。

・祝賀会会費（案） 会費5,000円（会員、賛助会員）。

・記念誌は平成25年度末までに発刊。

3)会費納入について

・期限内の会費納入を厳守していただきたい。

4)胃がん検診従事者講習会について

・片山理事から経緯について説明。

県の委託事業として年2回開催されてきた。

事業は県との委託契約期間内に行われることが条件となる。委託契約締結が年度の中頃（9～10月頃）以降にずれ込むことが多く、年度初めの開催では契約期間外となり助成の対象からはずれる。

契約期間内での講習会開催をお願いしたい。

和田会長からの補足

年度の早い時期の委託契約を県の担当官に要望した。講習会を年度の後半にシフトしていただければありがたい、各地区はいかがでしょうか？

玉田理事：東部は7月に予定していました。まだ

変更は可能とは思いますが1回目をどこに予定すればよいか困ります。

児玉理事：中部は委託契約が遅いということを知っておりましたので9月に予定しています。ただ昨年の実績では10月ということですので多少不安があります。

山本副会長：西部は3回開催する方向で進んでいるようです。内2回を契約期間内に開催する予定のようです。

5)その他

・総会をはがき原本の確認

出欠席を確認するため全員投函していただく。

欠席者は書面表決を行う。

畑理事：3分の2以上の賛成が必要な議案は第3号議案だけで、第1号議案・2号議案については過半数の賛成で可決ということでしょうか？

和田会長：第3号議案だけが3分の2以上の賛成が必要となります。第1号議案については計算書類・附属計算書を一括審議できると税理士から助言されましたのでそのようにいたします。

事業報告・監査報告について協議はしませんが、報告事項として議案集に掲載及び総会にて報告いたします。

田沢副会長：「附属」の「附」がはがきは「附」となっていますが式次第には「付」となっております。

和田会長：定款では「附属」となっていますので、式次第を変更してください。

森副会長：会費納入規程の一部改訂で3分の2以上の賛成が必要となるのでしょうか？

山本副会長：定款の変更には当たらないのでは？ということですね。

森副会長：定款のどの部分の変更に当たるのでしょうか？

和田会長：定款第7条の「正会員及び賛助会員は総会において別に定める額を支払う義務を負う（一部抜粋）」の「定める額」の変更に当たると考えられます。従って定款の変更になるため総会

での3分の2以上の賛成が必要となります。

次回理事会は平成25年8月31日となります。

*議長が、ほかに報告事項、協議事項がないか諮ったところ、全員より「特になし」の声が上がったので議長は議事の終了を宣言し16時40分閉会した。

平成25年4月22日

第2回(公社)静岡県放射線 技師会総会 議事録(抄)

1. 開催日時 平成25年 5月26日(日)
9時50分～11時00分
2. 場 所 アクトシティ浜松コンgresセン
ター41会議室
3. 理 事 16名 監事 2名 議長 2名
4. 出席者
和田健、田沢範康、森佳久、山本英雄、
三浦孝夫、畑利浩、片山昇、西谷収利、
佐々木幹晴、島田洋一、鈴木博寿、玉田宏一、
児玉吉彦、寺田理希、片山善博、田中陸生、
出席16名
倉田富雄(監事)、近藤仁(監事) 出席2名
岩谷篤(議長)、深沢英史(議長) 出席2名

《次 第》

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 表 彰
4. 報 告
 - ・平成24年度事業報告及び同附属明細書報告
 - ・平成24年度監査報告
5. 議長団選出
6. 議 事
 - 第1号議案 平成24年度計算書類(貸借対
照表及び正味財産増減計算
書)及び同附属計算書承認の
件
 - 第2号議案 財産目録承認の件
 - 第3号議案 会費納入規程の一部改訂承認
の件
 - 第4号議案 その他
7. 議長団解任
8. 閉会の辞

1. 開会の辞

総合司会(寺田 理希 総会運営委員長)

定刻になりましたのでご着席下さい。携帯電話の電源はお切りになるかマナーモードをお願いします。

本日、司会をさせていただきます西部地区会長の寺田です。よろしくお願いします。

それでは、ただ今より第2回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会を開催いたします。

はじめに、和田 健 会長から挨拶があります。

2. 会長挨拶

和田 会長

皆様おはようございます。

総会及び学術大会を始めるに当たり、一言、ご挨拶申し上げます。

今年は環太平洋連携協定(TPP)やエネルギーの安定供給など日本経済の将来を占う重要課題が山積みしております。デフレ脱却に向けた大胆な金融緩和や積極財政など国民の多くが雇用創出や景気浮揚の期待を寄せている今日、TPPへの交渉参加を表明し、医療分野では混合診療の解禁などによる国民皆保険制度の崩壊につながりかねない危機感を持ちつつ国内外の情勢を注視していなければなりません。

公益法人における公益目的事業の定義であります「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する」ことを念頭に入れ、公益法人に恥じない職能団体として県民の福祉の向上と健康維持増進に努力していきたいと考えます。

今回の大会テーマ「県民医療の向上にむけた放射線技術の結集」こそ、まさに、的を得たテーマであり、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、放射線の安全利用及び診療放射線技術の向上発展こそ、診療放射線技師に課せられた重要な役割であります。

学術大会で得た知識は「屠竜の技」で終わる事なく、更なる考察を加え、安全な技術として県民に還元してほしいものであります。

さて9月20日から3日間、島根県民会館・サンラポーむらくもの二会場で開催されます第29回日本診療放射線技師学術大会の事前参加登録が開始しております。静岡県として事前参加登録57名、情報交換会事前登録7名の割当がされております。日本診療放射線技師会、静岡県放射線技師会両会員は技師会事務所でも予約受付を開始しております。なお、学術大会ホームページからも申し込み可能となっておりますので是非、多数の参加をお願い致します。

次に県技師会としての今年度の大きな事業として10月12日ホテルアソシア静岡において静岡県放射線技師会 創立65周年記念式典そして2月16日に、この会場において第55回東海四県放射線技師学術大会の開催を予定しておりますので多数の皆様のご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

会費納入についてのご願いとして、技師会会費の納入期限は9月30日までとなっておりますので、職場内で会費を集金するなど、期限内に納入していただきますようお願いいたします。なお会費納入期限までの会費完納者数に応じて日本診療放射線技師会から県技師会への業務委託金が計算されます。期限内の納入をお願いします。

最後に本総会・学術大会の開催にあたり、ご尽力頂きました寺田実行委員長をはじめ、西部地区実行委員の皆様にご礼申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。

3. 表 彰

寺田 総合司会

次に表彰に移らせていただきます。小池澄男表彰委員に進行をお願いいたします。

小池 表彰委員長

只今より永年勤続表彰を行います。名前をお呼びしますのでご起立をお願いします。尚、敬称は省かせていただきます。

《永年勤続20年表彰》 14名

《永年勤続35年表彰》 9名

代表がまだ出席していませんのでこれで表彰式をおわります。

4. 報 告

寺田 総合司会

それでは、報告事項に移ります。平成24年度事業報告及び同附属明細書報告。和田 健 会長 お願いします。

和田 会長

平成24年度事業報告

総括といたしまして、東日本大震災より2年を経過する今日、福島県民15万人以上が県内外で避難生活を続けている。復興・復興のスピードは遅く、被災地住民の心労は計り知れない。福島第一原発周辺の放射線量は依然として高く、放射線物質の除染作業が進む中汚染土の保管場所にも苦慮している現状である。

公立学校法人福島県立医科大学理事長より福島第一原発の事故による福島県内の放射能汚染を踏まえて県民の将来にわたる健康管理を行い、県民の安全・安心の確保を図る目的として全福島県民を対象とした「県民健康管理調査」を行うために超音波検査士（体表領域）の資格を有する会員を現地に派遣した。

平成24年4月1日より公益社団法人に移行認定され、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、放射線の安全利用及び診療放射線技術の向上発展を図り、もって県民の健康維持増進に寄与することを目的として、その目的を達成するために

- (1) 放射線学及び診療放射線技術の向上発展に関する事業
 - (2) 放射線検査に関する知識の普及啓発に関する事業
 - (3) 放射線の管理及び安全対策に関する事業
 - (4) その他本会の目的達成に必要な事業
- などを通して、診療放射線技師の技術と資質の向上を図ると共に県民の疾病予防の発活にも努めた。

事業内容としてはセミナー・講演・学術大会・研修会等による診療放射線に関する最新情報や技術向上発展の研修事業、放射線検査に関する知識の普及啓発事業そして研修・訓練等による放射線管理や安全推進事業も積極的に開催されて各種専門部会での活発な情報交換が行われ、その技術を臨床現場に反映することができた。胃がん検診従事者講習会や肺がん検診従事者講習会も、早期発見に向けて更なる技術向上を図るべき研修会を開催したり、各地区ではふれあい広場を利用しての放射線被ばく相談や腹部超音波検査無料体験そして骨密度測定無料体験を通して自己の健康管理の重要性を再認識する機会であった。

がん検診受診率が低迷する今日、大腸がん検診事業の啓発活動を実施して、受診率向上に努めた。

医療安全の観点からは大きなアクシデントの報告もなく、各医療機関での診療放射線技師はチーム医療の一員として「読影補助業務や各種検査に対する説明等」を実施して、医療への受診時の不安解消に努めるとともに医療被ばくの低減化と良質な画像の提供に日々努めた。

開催県としての第5回中部放射線医療技術学術大会は「未来のベクトルを考える放射線技術」と題して、特別講演・特別企画・シンポジウム・県民公開講座・一般研究発表など、活発な意見交換がなされ、中日本地域より多数の会員、非会員、学生、賛助会員、県民が参加して盛会に終えることができた。

(公社)日本診療放射線技師会は創立65周年並びに公益社団法人移行記念式典を開催し、国際医療福祉大学総長 矢崎義雄先生による「わが国における医学・医療の挑戦と応援」と題した記念講演会も開催された。公益法人後の最初の総会として平成24年6月2日第72回定期総会として平成23年度事業報告・決算報告、平成24年度事業計画案・予算案、定款の一部改正(名称変更)、組織規程の改正、平成24年度・25年度役員の選任等について活発な審議が行われた。

診療放射線技師はチーム医療の一員としての自

覚と安心安全な医療の実践そして新しい医療情報の提供を行い、専門職としてのスキルアップを図り、もって県民の健康保持および増進に寄与することができた。

次に、主な事業活動として、公益事業1はセミナー等による診療放射線技術の向上発展のための研修事業

- ・(公社)静岡県放射線技師会
- 第17回静岡県放射線技師学術大会
- ・第28回日本診療放射線技師学術大会
- ・第5回中部放射線医療技術学術大会
- ・第54回東海四県放射線技師学術大会
- ・日本診療放射線技師会 診療放射線技師基礎技術講習会「乳房撮影」
- ・第2回フレッシュャーズセミナー
- ・第12回マンモグラフィ事前講習会
- ・第12回マンモグラフィ撮影技術講習会
- ・肺がん検診従事者研修会
- ・平成24年度放射線技師研修会

公益2事業は体験活動、講演、相談等の事業による放射線検査に関する知識の普及啓発事業

- ・新春公開講演会
- ・第33回静岡ふれあい広場
- ・第2回東部地区ふれあい広場
- ・第3回西部地区ふれあい広場
- ・秋季公開講演会 がん検診啓発事業

大腸がん検診受診率向上をめざして

- ・ホームページやFAXによる放射線に関する問い合わせ相談

公益3事業は研修、訓練等による放射線管理及び安全推進事業

- ・平成24年度 原子力災害時緊急対策研修会
- ・静岡県原子力防災情報伝達訓練
- ・第6回医療安全セミナー
- ・静脈注射に関する講習会

その他の事業

- ・(公社)静岡県放射線技師会第1回総会
- ・(公社)日本診療放射線技師会第72回定時総会 会員に対する相互扶助事業

・(公社)静岡県放射線技師会第21回アール祭
会務の報告

事業経過報告

- ・ 東部地区事業報告
- ・ 中部地区事業報告
- ・ 西部地区事業報告

学術

- ・ 学術委員会報告
- ・ 部会報告

委員会報告

- ・ 編集委員会
- ・ 企画調査委員会
- ・ 情報管理委員会
- ・ 生涯教育委員会
- ・ 災害対策委員会

諮問機関

- ・ 表彰委員会
- ・ 事業所管理運営委員会
- ・ 医療安全推進委員会

以上が24年度事業報告、総括並びに詳細の事業活動です。

一点、6ページの会務庶務報告の会員動静のなかで正会員の24年度末会員数が829名と記載されます。これは、平成25年3月28日の常任理事会の開催時の会員数で実際の平成25年3月31日現在の会員数は808名、賛助会員が25社として願います。

寺田 総合司会

ありがとうございました。

続きまして、平成24年度監査報告をお願いします。倉田 富雄 監事をお願いします。

倉田 監事

監査報告をする前に、1つ訂正をお願いします。監査意見の第5項の公益事業比率は76.91%に訂正してください。

それでは監査報告をいたします。平成24年度から監査回数が年1回に変更になりましたので、ご了承ください。監査を行う規程ですが、定款の変更に伴いまして、定款44条及び経理規程の44条第

3項に基づいて行いました。平成25年4月13日に、和田会長以下、関係理事及び職員の立ち合いのもと、近藤監事と私で監査を行いました。監査書類は事業報告に係わる一切の書類であります。この書類であります、定款の44条に記載されている書類です。監査対象の書類に関しましては定款に従い、会の財産及び損益の状況が正しく記載されています。使用目的及び金銭金額に関しましては、間違いありません。

2項目の事業につきましては、先程から会費納入に関しての会長の意見がありますが、今年度に繰り越される金額が前年度に比べ非常に少なくなっています。会員諸氏の会費の納入を期限までに収めることをお願いします。役員の職務に関しましては、定款に反する事実は認めません。事業比率は76.91%でした。公益事業比率は、これからこの程度の数字を維持することを望みます。

以上が監査報告です。

寺田 総合司会

ありがとうございました。それでは、議事に入りたいと思います。

議長の選任につきまして、如何取り計らいましょうか。

《 会場より司会者一任の声あり。 》

寺田 総合司会

司会者一任の声がありましたので、こちらより指名させていただきます。それでは、中部地区より榛原総合病院 岩谷 篤 会員、東部地区より富士宮市立病院 深沢 英史 会員。この2名の方をお願いします。

5. 議 事

岩谷 議長

ご指名いただきました榛原総合病院の岩谷 篤です。よろしくお願いします。

深沢 議長

富士宮市立病院の深沢 英史です。よろしくお願いします。

岩谷 議長

それでは、本日の総会の資格審査を本部より報

告をお願いします。

児玉 吉彦 総会運営委員

それでは資格審査委員より本日の定時総会成立に関しまして、ご報告いたします。

定款第18条には、現会員数812名の過半数をもって総会の成立が定められております。10時現在、出席者66名、表決状524名であり、出席者・表決状の数が定款に定められた過半数を満たしておりますので、本総会の成立をここにご報告いたします。

岩谷 議長

本部より本総会の成立が報告されましたので、これより議事にはいります。議事報告にはいる前に、総会運営委員の任命を致します。

書記

片山 善博 会員

採決係

児玉 吉彦 会員

玉田 宏一 会員

中山 雅巳 会員

小泉 雅廣 会員

議事録署名人

西谷 収利 常任理事

片山 昇 常任理事

以上よろしく願いいたします。

進行は総会次第に則り、第1号議案を岩谷 篤が、第2号議案から第4号議案までを深沢 英史が担当いたします。今年の本総会では、それぞれの議案について質疑応答と採決をすることといたします。では、第一号議案、定款44条の第1項、第3号から第5号までを総称して、平成24年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び同附属計算書承認の件を佐々木 幹晴 会計理事よりお願いします。

佐々木 理事

それでは会計に関する書類は、議案集27ページから37ページになります。第2号議案の財産目録が第1号議案の間に印刷してありますが、ご了承ください。

では、議案集27ページ貸借対照表をご覧ください。

資産の部、

・流動資産として 現金預金 412,934円。

固定資産の部、

・特定資産として65周年事業準備金、事務所営繕取得準備金を合わせて 6,787,496円。

・その他、固定資産として建物、什器備品、土地で25,173,766円。

以上、固定資産合計31,961,262円。従いまして資産合計 32,374,196円。

負債等ございませんので、下段の負債及び正味財産合計は32,374,196円となります。

続きまして、正味財産増減計算書をご覧ください。これは、減価償却を加味した計算書になりますので収支の詳しい内容につきましては、34ページからの収支計算書にて説明いたします。それでは、収支計算書をご覧ください。

事業活動収支の部、大きな項目をもって報告いたします。

・事業活動収入 予算額 13,150,000円

決算額 11,106,236円

差異 2,043,764円

予算額を下回った原因は、会費収入、広告収入の減少がありました。受け取り会費に関しましては、前年と比べまして1,144,000円減少しています。

・事業活動支出

事業費支出 予算額 8,359,000円

決算額 8,007,324円

管理費支出 予算額 3,167,000円

決算額 3,193,040円

従いまして、

事業活動支出合計 予算額 11,526,000円

決算額 11,200,364円

事業活動収支差額 94,128円のマイナスとなりました。投資活動支出は、特定資産取得支出として、65周年事業準備金取得支出、事務所営繕取得準備金取得支出を合計しまして1,624,563円。事業活動収支差額と投資活動収支差額を前年度の

繰越金から差し引いた額、412,934円が次年度の繰越金となります。

次に、正味財産増減計算書内訳表をご覧ください。公益目的事業と法人会計の内訳となります。公益目的比率は76.91%となり公益法人として定められた、公益目的割合を満たしています。以上です。

岩谷 議長

ただいまの、平成24年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び同附属計算書承認の件に対しまして質問がありましたらお願いします。

質問者は所属、氏名を述べてからお願いします。

伊藤 会員

西遠クリニックの伊藤と申し上げます。

昨年と議事の進行が違うので戸惑っています。まず、一点として25年度の予算書、事業計画は提出してあるのですか。

和田 会長

定款43条に、次年度予算案・事業計画は理事会承認で可決することになっています。今審議している議案は定款44条に従って行っています。

伊藤 会員

わかりました。ありがとうございました。

今年度の会計についてですが、正会員もさほど変動がないのに収入が減少しているが、未納者がいるからですか。

佐々木 理事

はい、かなりいます。対策としては、施設長を通し納入を促しています。

伊藤 会員

はい、わかりました。

和田 会長

補足します。平成25年4月9日の常任理事会の時点で24年度までの未納者が117名います。会計上は3月31日で計算しますので、収支計算書はマイナスになっています。これは、日本放射線技師会と一括で請求しているの、処理上1か月遅れで口座に振り込まれる事が要因の一つです。ただ、

期限内の会費納入は会員の義務でもあります。職場内で協力して、期限内に納入してください。期限内の納入に対して、日本放射線技師会より業務委託費が一人200円入りますので、ぜひとも協力をお願いします。以上です。

伊藤 会員

収支がマイナスになって繰越金が少ないが、これで今年度やっていけますか。

和田 会長

3月末に、日本放射線技師会に一括で支払いしている方が何名かいらっしゃいますので、昨年と同様の繰越金になると思います。

ただ、2年未納者がかなりおりますので、その方には会費納入をお願いしています。未納ならば、自然退会出来るという悪知恵を頭の中に持ってもらうのは困る。何とかやり繰りをしていきたい。常任理事会でも支出を60万円程、昨年度より抑制しています。常任理事会も半分はメール会議で情報交換をしています。よく、ご理解していただきたい。

以上です。

伊藤 会員

どうもありがとうございました。

岩谷 議長

他に、何かありますか。

ないようなので、表決に入りたいと思います。

それでは、はじめに表決ハガキによる採決を報告します。

第1号議案の平成24年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減書）及び同附属計算書承認の件は

反対 1名 賛成 521名 保留 2名

つづきまして会場採決を行いますので挙手をお願いします。採決係の方、数を数えて下さい。反対、賛成、保留。

第1号議案の平成24年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減書）及び同附属計算書承認の件は

反対 1名 賛成 580名 保留 2名です。

採決の結果、第1号議案は賛成多数により可決しました。

それでは、議長交代します。

深沢 議長

第2号議案に入ります。

財産目承認の件を佐々木 幹晴 会計理事よりお願いします。

佐々木 理事

30ページの財産目録をご覧ください。

流動資産

・ 静岡銀行伝馬町支店	229,076円
・ 静岡鷹匠郵便局	183,858円
・ 流動資産合計	412,934円

固定資産

・ 特定資産 65周年事業準備金	2,600,000円
事務所営繕取得準備預金	4,187,496円
・ その他固定資産 建物、什器備品、土地	25,173,766円
・ 固定資産合計	31,961,262円

流動資産、固定資産を合わせた正味財産

32,374,196円

以上です。

深沢 議長

それでは、ただいまの財産目録承認の件に対しまして、質問がありましたらお願いします。

ないようですので、表決に入りたいと思います。

はじめに、表決ハガキによる採決結果を報告します。

第2号議案の財産目録承認の件は

反対 2名 賛成 520名 保留 2名です。

つづきまして、会場採決を行いますので挙手をお願いします。採決係の方、数を数えて下さい。

反対、賛成、保留

第2号議案の財産目録承認の件は

反対 2名 賛成 579名 保留 2名

です。採決の結果、第2号議案は賛成多数により可決しました。

つづきまして、第3号議案、会費納入規程の一部改訂承認の件を和田 健 会長よりお願いします。

す。

和田 会長

第3号議案の会費納入規程の一部改訂承認の件について説明します。

この会費は、賛助会員の会費とご理解ください。公正競争規約で製薬メーカーが企業活動をするにあたって、様々な規則、規定が設けられています。その中で、賛助会員に関する規定があります。各団体における事業の賛同だけでなく賛助会員になることについて特典を求めています。この特典に関して、正会員と同等である必要がないとされています。会費納入規程第7条、会費に関する第2条は総会で決議となっています。賛助会員の会費に関することは総会で承認する。これは定款18条第2項第3号の定款の変更に値すると解釈し、総会承認としました。総正会員の議決権の3分の2以上をもって行うことにより、第3号議案を提案いたします。以上です。

深沢 議長

それでは、ただいまの会費納入規程の一部改訂承認の件に対しまして、質問がありましたらお願いします。

ないようですので、表決に入りたいと思います。

はじめに、表決ハガキによる採決結果を報告します。

第3号議案の会費納入規程の一部改訂承認の件は

反対 2名 賛成 516名 保留 6名です。

つづきまして、会場採決を行いますので挙手をお願いします。採決係の方、数を数えて下さい。

反対、賛成、保留

第3号議案の会費納入規程の一部改訂承認の件は

反対 2名 賛成 575名 保留 6名です。

以上で、正会員数の3分の2を超えていますので、第3号議案は可決しました。

つづきまして、第4号議案。その他、なにか審議の必要案件がありましたら、挙手をお願いします。

特に、ございませんか。

それでは、第2回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会の議事を終了いたします。熱心なご討議ありがとうございました。

以上を持ちまして議長団を解任させていただきます。

寺田 総合司会

議長の皆様、ありがとうございました。役員の方、監事の方ありがとうございました。

以上をもちまして、第2回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会を終了いたします。

行事予定カレンダー (平成25年8月～11月)

8 月			9 月			10 月			11 月		
1	木		1	㊥		1	火		1	金	
2	金		2	月		2	水		2	土	11月2～3日 平成25年度 静岡県マンモグラフィ 講習会(静岡県立総合病院)
3	土		3	火		3	木		3	㊥	文化の日
4	㊥		4	水		4	金		4	㊥	
5	月		5	木		5	土	第59回超音波部会研修会	5	火	しずおかジャーナル 第6回編集会議 初校
6	火		6	金		6	㊥		6	水	
7	水		7	土		7	月		7	木	
8	木	第9回 常任理事会	8	㊥	第34回静岡ふれあい広場 静脈(抜針)講習会	8	火		8	金	
9	金		9	月		9	水		9	土	11月9～10日 第6回中部放射線医療 技術学術大会(石川)
10	土		10	火		10	木	第13回 常任理事会	10	㊥	
11	㊥	中日本ブロックCT講習会(浜松)	11	水		11	金		11	月	
12	月		12	木	第11回 常任理事会	12	土	静岡県放射線技師会 創立65周年記念式典 (ホテルアソシア静岡)	12	火	しずおかジャーナル 第7回編集会議 2校
13	火		13	金		13	㊥		13	水	
14	水		14	土	第1回放射線セミナー、 第1回胃がん検診従事者 講習会(中部地区会) 第38回MRI部会研修会	14	㊥	体育の日	14	木	第15回 常任理事会
15	木		15	㊥		15	火		15	金	しずおかジャーナル 編集最終確認
16	金		16	㊥	敬老の日	16	水		16	土	第1回放射線セミナー、 第1回胃がん検診従事者 講習会(東部地区会)
17	土		17	火		17	木		17	㊥	
18	㊥		18	水		18	金		18	月	
19	月		19	木		19	土		19	火	
20	火		20	金	9月20～22日 第29回日本診療放射線 技師学術大会(島根)	20	㊥		20	水	
21	水		21	土		21	月		21	木	
22	木	第10回 常任理事会	22	㊥	東部地区ふれあい広場	22	火	ジャーナル原稿締め切り	22	金	
23	金		23	㊥	秋分の日	23	水		23	㊥	勤労感謝の日
24	土		24	火		24	木	第14回 常任理事会	24	㊥	公開講座(あざれあ会館)
25	㊥		25	水		25	金		25	月	
26	月		26	木	第12回 常任理事会	26	土	第2回放射線セミナー、 第2回胃がん検診従事者 講習会(西部地区) 第41回アンギオ部会研修会	26	火	
27	火		27	金		27	㊥		27	水	
28	水		28	土	第22回乳腺画像部会 (東部ポジショニング講習会)	28	月		28	木	第16回 常任理事会
29	木		29	㊥		29	火	しずおかジャーナル 第5回編集会議 寄稿	29	金	しずおかジャーナル Vol. 23 No. 2 発行
30	金		30	月		30	水		30	土	平成25年度原子力緊急時 災害対策研修会 第21回放射線技師の ためのセミナー
31	土	第2回 理事会				31	木				

* 都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌にてご確認ください。

* 日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧ください。

編集後記

※総会と学術大会も終わり、今年度の初めての発行となります。皆様ご協力ありがとうございました。

(島田)

※今年も暑い夏がやってまいりました。

この時期になると、とたんに増えるのが黒い物体Gです。

うちの病院はとても古いので、夏になるとこのGが異常繁殖します。

住居として使用していただくのは構わないのですが、検査中撮影室に出てこれると、非常にかっこ悪いです。早いとこ新築移転してくれないかなぁと夏になると思います。

(片山)

※例年よりだいぶ早く梅雨も明け、気温もぐんぐん上がり今年も猛暑、酷暑の夏(?)。

この季節注意しなければならないのが「何人、倒れた」とか、「何人、救急車で運ばれた」とかニュースでも騒がれる熱中症。

無駄に水分を摂って、家族に『水呑み○○(差別用語)』と言われるほどだった私でしたが、ここ数年、水分摂取量が激減していて、「年を取ると渴きを感じにくくなり、水分摂取量が減る」ということを実感。「年を取った」んでしょうね…。

熱中症にかからないよう、意識して水分(ミネラルも)を多く摂って、さらに過激になっていくであろう今年の夏を乗り切っていこうと思います。

(鈴木)

※梅雨が明け、最近はずいぶん毎日が続きます。寝苦しい夜も多く、なかなか日頃の疲れが抜けません。還暦を迎えた現在、もう無理はできないようです。年相応に頑張ります。

(三輪)

※猛暑が続く中、熱帯夜を我慢して熱中症になるよりもエアコンを設定温度30度にして深夜帯を快適に過ごす毎日です。この設定でも快適に過ごせます。

(稲垣)

※今年の梅雨は短かった気がします。晴れている方が好きなので全然構わないのですが、この分だと水不足が心配です。みなさん、熱中症には気をつけましょう。

(大瀧)

会誌「しずおかジャーナル」Vol.23 No.1 2013

平成25年7月26日発行

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202
公益社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 和田 健

編集者 : 島田 洋一

印刷所 : 〒420-0876 静岡市葵区平和一丁目2-11

(株)六幸堂 TEL(054)254-1188 FAX(054)254-0586

事務所案内

執務時間: 月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで。 TEL(054)251-5954

執務時間外は、留守番電話にてお受けいたします。 FAX(054)251-9690

URL <http://shizuhogi.jp>

E-mail address : shizuhogi@ac.auone-net.jp